

50 博物館-1(登録)

斜里町立知床博物館	
住所:099-4113 斜里郡斜里町本町12 開設年:1978年 設置母体:市町村区立 所蔵資料:— 職員総数(非常勤を含む):8人	
目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブの専門知識やスキル, 経験はないので, 独学で最低限必要な技術を身につけて運用・更新をしている ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0件/0円] ◎課題・工夫点等:雑誌執筆規定に公開されることを明記。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	誰でも更新できるよう, 最低限の技術で統一された(一貫した)手法で行っている。

【斜里町立知床博物館・提供アーカイブ】

■知床博物館研究報告 (1件目/1件中)	
公開年:2003年 URL: http://shir-etok.myftp.org/ 更新頻度:年1回程度	
概要	知床博物館研究報告の PDF ◆コンテンツ総容量:0.16GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:7件 [雑誌7号] ◆コンテンツ増加量:1件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:できるだけ W3C valid を目指す。テーブルレイアウト, フレームの非使用。
構築	◆システム開発方法:その他:システムなし, HTML の手打ち ◆構築予算[理由]:0円 [個人が使用しなくなったパソコンをサーバーに利用, フリーソフトのエディタでサイト作成] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円 [DTP化してから始めたので, 印刷所で追加料金発生せず]
運営	◆年間運営予算[理由]:0円 [通常の業務として運営] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:no man (作成していない。検索可能な PDF なのでそれで代えている) ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:—, PDF ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:MO ◆長期保存のための取組:高信頼メディアの情報収集を欠かさない
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:PORTA

北海道立函館美術館

住所:040-0001 函館市五稜郭町 37-6 開設年:1986年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 15,000 冊/所蔵品 1,644 点 職員総数(非常勤を含む):14 人

回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②検索性の向上 ③調査研究用
所蔵資料の 収録率	100%(寄託品,資料を含めると約30%)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:その他:詳しくないが学芸員が担当 ◆人材育成の取組:その他:取組んでいない
権利処理	◆処理方法:自機関のみ限定利用 ◆処理状況:その他:していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【北海道立函館美術館・提供アーカイブ】

■所蔵品データベース（通称）（1件目/1件中）

公開年:2005年 URL:機関内限定公開(職員のみ) 更新頻度:年1回程度

概要	道立美術館 6 館の所蔵作品のデータと画像 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:1,400 件〔当館所蔵作品〕 ◆コンテンツ増加量:(年によりかなり差異がある)
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:館内未提供(内部利用のみ) ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IB Museum ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:緊急雇用対策事業として ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費[理由]:0 円〔既存写真を利用〕
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

北海道立北方民族博物館

住所:093-0042 網走市字潮見 309-1 開設年:1991年 設置母体:都道府県立

所蔵資料: 職員総数(常勤のみ):14人

回答担当:学芸グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②広報活動 ③新しい表現
所蔵資料の 収録率	90%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独習及び各種研修会への参加 ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している [サーバーの使用]
その他 F.A.	—

【北海道立北方民族博物館・提供アーカイブ】

■常設展示資料検索 (1件目/1件中)

公開年:2005年 URL:<http://hoppohm.org/kensaku/index.htm> 更新頻度:年1回程度

概要	常設展示に展示している資料について簡単に検索できるようにしたもの ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:900件 [民族資料及び考古資料] ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:160件/月 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:サーバーを利用させていただいているところのサイトにもリンクの設置。
構築	◆システム開発方法:独自に開発(これをファイルメーカーに移して利用) ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:自治体の独自事業, ◆予算獲得のきっかけ:雇用対策 ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [撮影, プログラミング] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0円 [不要] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:Museum Registration Methods ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

北海道立三好太郎美術館

住所:060-0002 札幌市中央区北 2 条西 15 開設年:1977 年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 8,000 冊/所蔵品 253 点 職員総数(非常勤を含む):6 人

回答担当:学芸担当

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②新しい表現 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	100%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし,情報の登録,修整 ◆人材育成の取組:その他:行っていない
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:不明
その他 F.A.	—

【北海道立三好太郎美術館・提供アーカイブ】

■当館 HP (1 件目/1 件中)

公開年:2002 年 URL:<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/> 更新頻度:年 1 回程度

概要	所蔵作品一覧と代表的なものについての詳細情報 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:251 件 [油彩,水彩,素描,版画] ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:一部外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [更新作業は職員が行っている] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員 (学芸員) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:その他:PC ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:PORTA

岩手県立美術館

住所:020-0866 盛岡市本宮字松幅 12-3 開設年:2001年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 30,000 冊 職員総数(非常勤を含む):20人
 回答担当:学芸普及課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 [かなり達成できた] ②検索性の向上 [かなり達成できた] ③収蔵スペース縮小 [かなり達成できた]
所蔵資料の 収録率	100%
運営予算	◆年間予算に占める割合:20% ◆外部委託費が占める割合:20%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、データの追加、更新を定期的に行っている ◆人材育成の取組:その他:特に取組をしていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [2~3件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況[連携内容]:連携している [データの提供]
その他 F.A.	—

【岩手県立美術館・提供アーカイブ】

■岩手県立美術館収蔵品情報検索システム (1件目/1件中)

公開年:2001年 URL:<http://www.ima.or.jp> 更新頻度:年数回程度

概要	岩手県立美術館収蔵美術品の文字及び画像データ ◆コンテンツ総容量:10GB ◆コンテンツ総件数:3,400件 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:529件/月 ◆館内等利用者数:200人 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IB MUSEUM ◆構築予算:2001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:県立美術館開館に向けて施設整備事業の一環として ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [プログラム作成, データ入力] ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [機器保守]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:GIF ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

萬鉄五郎記念美術館

住所:028-0114 花巻市花城町 9-30 開設年:1984 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 30,000 冊/所蔵品 2,000 点 職員総数(非常勤を含む):7 人

目的 〔達成状況〕	①調査研究用 ②活動成果の普及 ③資料の保存・管理
所蔵資料の 収録率	10%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:ほとんど活用できない ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [320 件/0 円]
他機関との 連携	◆連携状況:不明
その他 F.A.	—

【萬鉄五郎記念美術館・提供アーカイブ】

■萬鉄五郎記念美術館デジタルミュージアム (1 件目/1 件中)

公開年:2000 年 URL:<http://www.yorozu-UNET.jp> 更新頻度:その他(2 年ごと)

概要	萬鉄五郎作品(油彩・水彩・素描・水墨)の画像 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:320 件 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用 ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:101~200 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

秋田県立近代美術館

住所:013-0064 横手市赤坂字富ヶ沢 62-46 開設年:1994年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 21,000 冊/所蔵品 1,800 点 職員総数(非常勤を含む):26 人
 回答担当:学芸班

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上 ②資料の保存・管理 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	56%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:予算削減のため、データの新規登録とメンテナンスができなくなっている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理, 自機関のみ限定利用 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [4 件/40,000 円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【秋田県立近代美術館・提供アーカイブ】

■秋田県立近代美術館データベース (1 件目/1 件中)

公開年:1994 年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年 1 回程度

概要	秋田県出身の作家たちを中心に、近現代の美術に大きな足跡を残した作家たちの作品を収蔵している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:1,075 件 ◆コンテンツ増加量:5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:業者委託 ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:秋田県立近代美術館設立に際する普及事業の一環として ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託 [プログラムや検索ソフト等の開発] ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円 [予算がないので] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:学芸班員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

那珂川町馬頭広重美術館

住所:324-0613 那須郡那珂川町馬頭 116-9 開設年:2000年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書4,619冊/所蔵品4,353点 職員総数(非常勤を含む):7人

回答担当:事務担当

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 ②検索性の向上 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	29%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:5%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:学芸員が担当しており,運用・更新等を委託業者に発注 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握している
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【那珂川町馬頭広重美術館・提供アーカイブ】

■ホームページ (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:<http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/> 更新頻度:月1回程度

概要	収蔵品検索システム用データとして浮世絵版画等の図版画像を収録している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:1,200件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:館内業務支援システム ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

入間市博物館

住所:358-0015 入間市二本木 100 開設年:1994 年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書 27,000 冊/所蔵品 41,000 点 職員総数(常勤のみ):14 人
 回答担当:事業担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔館蔵資料の大部分の情報が把握できるようになった〕 ②活動成果の普及〔一般利用者の閲覧やマスコミ等からの問い合わせが増加した〕 ③検索性の向上〔展示計画立案や目録製作の利便性が向上した〕
所蔵資料の 収録率	70%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:15 年前の開館当初からデジタルアーカイブ(的なもの。当時はそういう概念ではなかったと思うが)を構築しており、当初からその構築・運営に携わってきた職員が継続して担当している。学芸員職であるが、独学で司書に必要な知識を学習し、全体の管理を行っている ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:設問に該当しない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	資料管理用パッケージソフトのカスタマイズ時、日常業務の一環としてデジタルデータの入力が必要不可欠な形での資料受入を行い、タイムリーな情報入力・公開が可能となるよう考慮した(初回の構築時ではなく、その後のリニューアル時に実施)。

【入間市博物館・提供アーカイブ】

■名称なし (1 件目/1 件中)

公開年:1994 年 URL:— 更新頻度:ほぼ毎日

概要	入間市博物館の収蔵する文書・美術工芸資料・民俗資料・植物標本・写真・考古資料・図書等に関するテキスト及び画像データ ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:71,000 件〔文書 27,000 件, 民俗資料 7,300 件, 美術工芸資料 1,500 件, 写真 2,800 件 植物標本 4,000 件, 図書 26,000 件, その他 3,000 件〕 ◆コンテンツ増加量:4,000 件(最近 5 年間程度の実績)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・検索エンジンから入りやすい工夫をする。 ・HP 上でわかりやすいところにアーカイブへの入り口を配置。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:I. B. Museum ◆構築予算:2001 万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:博物館の開館時、「情報センター機能」をもつ施設として特色を打ち出す構想があったため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔資料館利用パッケージソフトのカスタマイズ, 公開用システムの開発〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データ入力, システムのメンテナンス〕
技術	◆参考文献:日本目録規則 ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM, DVD, その他:サーバー ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

袖ヶ浦市郷土博物館

住所:299-0255 袖ヶ浦市下新田 1133 開設年:1982年 設置母体:市町村区立

所蔵資料: 職員総数(非常勤を含む):8人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 ②資料の保存・管理 ③二次利用・貸出
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:2.7% ◆外部委託費が占める割合:85%
人員	◆運営担当者:他部署の者,非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係,自機関のみ限定利用 ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【袖ヶ浦市郷土博物館・提供アーカイブ】

■収蔵資料データベース (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:— 更新頻度:年1回程度

概要	収蔵資料(民具)の検索,画像や,貸出可否の確認が出来る。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:3,176件 ◆コンテンツ増加量:100件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:10件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ファイルメーカーPro ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:HPの開設 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

千葉県立房総のむら

住所:270-0506 印旛郡栄町龍角寺 1028 開設年:1986年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 15,200冊/所蔵品 14,138点 職員総数(非常勤を含む):94人

回答担当:事業課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔目的は達成している〕 ②検索性の向上〔目的は達成している〕 ③資料の保存・管理〔全資料の入力が済んでいないため、目的は達成されていない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:当館の場合、県立館全体のデータベースのため、館独自での予算の確保を行っていない。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:今後、研修の充実をさせたい。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [0件/0円] ◎課題・工夫点等:肖像権については撮影時に口頭で本人の許可をもらっているが、公的機関や専門家のアドバイス等があることが望ましい。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔県立美術館・博物館の情報システム〕
その他 F.A.	トラブルへの対処等、外部専門家へ相談できることを望む。

【千葉県立房総のむら・提供アーカイブ】

■千葉の県立博物館 (1件目/1件中) 公開年:2004年 URL: http://search.chiba-muse.or.jp/museum/U_Action 更新頻度:年1回程度	
概要	デジタルミュージアム、千葉県立美術館・博物館収蔵・資料検索システム等がある。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:16,515件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:各館のHPから検索システムの入口を配置している。
構築	◆システム開発方法:その他:情報システム委員会と業者が協力して開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:県の予算、 ◆予算獲得のきっかけ:雇用推進事業で資料をデータ化する予算がついたことがきっかけ ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔情報管理を外部委託〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:専門学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:決まっていない ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:その他:なし ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:外部専門家に相談できるところがほしい。
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

(財)雲柱社 賀川豊彦記念松沢資料館

住所:156-0057 世田谷区上北沢 3-8-19 開設年:1982年 設置母体:公益法人

所蔵資料:蔵書 20,000冊/所蔵品 20,000点 職員総数(非常勤を含む):5人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 [30%] ②活動成果の普及 [30%] ③検索性の向上 [30%]
所蔵資料の 収録率	30%
運営予算	◆年間予算に占める割合:6% ◆外部委託費が占める割合:6% ◎課題・工夫点等:リース契約にしてイニシャルコストによる負担を軽減する。データベースを構築するための基礎データ(画像など)を外注するが年間予算の範囲で数年越しで作成している。
人員	◆運営担当者:研究者等専門家,非常勤・アルバイト ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,専門家等に相談,権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:訴訟されることのないように,懸念される資料の場合,顧問弁護士に相談してから公開を決定するようにしている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している [VPN でつないで共同利用している] ◎課題・工夫点等:関係する他館と共同出資してデータベースを共有している。それぞれのコードを持つことで,所有館が判別できるようにしている。
その他 F.A.	—

【(財)雲柱社賀川豊彦記念松沢資料館・提供アーカイブ】

■賀川豊彦資料データベース (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:機関内一般公開(web 公開予定) 更新頻度:年数回程度

概要	コレクションアーカイブズなので,アーカイブズ学的な階層構造での整理が難しい。コンテンツは手稿資料,図書,モノ,寄贈など ◆コンテンツ総容量:500GB ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:100件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IB ミュージアム ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:時代の要請に応えるため,理事会を説得した ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託 [データベース設計] ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:DC と ISAD を基に独自につくった ◆利用・提供用ファイル:JPEG, MPEG, AIFF ◆保存用ファイル:TIF, AVI, WAVE ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:媒体転換。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:—

練馬区立美術館

住所:176-0021 練馬区貫井 1-36-16 開設年:1985年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 1,900点 職員総数(非常勤を含む):9人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔作品の収集活動を公開し、問い合わせなどが入っている〕 ②資料の保存・管理〔情報の共有化など〕 ③広報活動〔展示活動とも連動して、館の取組を知らしめる〕
所蔵資料の 収録率	100%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明(人件費を含まない美術館予算に占める割合は1%) ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:運用を外部業者に委託している ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔50件/500円(書類郵送費程度)〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【練馬区立美術館・提供アーカイブ】

■所蔵品データベース (1件目/1件中)

公開年:2005年 URL:<http://www.nerima-art-museum.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:1,400件(現在更新準備中。500点ほど追加予定あり) 〔所蔵作品をほぼ全て収録(画像添付はその一部から主なものを抜出している)〕 ◆コンテンツ増加量:90件/年(画像,ただし文字データは新収蔵作品を全て入力するため年によってばらつきあり)
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:37,000件/月〔コレクション展開催に合わせて増える期間あり〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:館のHPからアクセスし,作家名や技法,キーワードなどで作品を検索できる。(特に専門知識がなくとも画題のイメージから探せるようにしている)
構築	◆システム開発方法:その他:パッケージをアレンジし,当館用に作成 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:区全体の電子化の方針によるもの ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔画像のデータ化ほか〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル: JPEG, TIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM(画像データのみ) ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

厚木市郷土資料館

住所:243-0003 厚木市寿町 3-15-26 開設年:1999年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 164,593点 職員総数(常勤のみ):5人

回答担当:厚木市教育委員会教育総務部文化財保護課

※アーカイブ運営は情報政策課が担当

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔他館からの資料に関する問い合わせが増加した〕 ②二次利用・貸出〔画像のみの貸出については送付等の手間が省けた〕 ③活動成果の普及〔館の知名度が上がり,来館者が増加したとは思えない〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:他課(情報政策課)が運営しているので,予算等の詳細は不明。
人員	◆運営担当者:その他:他の部署で運営している ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:その他:特に取り組みはしていない
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他
他機関との 連携	◆連携状況:不明
その他 F.A.	—

【厚木市郷土資料館・提供アーカイブ】

■厚木市インターネット博物館 (1件目/1件中) ※新年度HPリニューアルにより非公開となる予定 公開年:2002年 URL: http://ddbssvr.city.atsugi.kanagawa.jp/museum/ 更新頻度:月1回程度	
概要	厚木市郷土資料館で所蔵している「絵はがき」「浮世絵」「化石」の画像(1データに対してサムネイル,中,大の3種類)を公開し,それぞれの分類によって検索できるようにしている。資料館で所蔵するフェリックス・ベアト撮影になる幕末写真の公開 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:不明〔テキストのみのものもあり,詳細は不明〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:「緊急雇用対策事業」と思われるが,他課の予算であり,詳細は不明 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システム構築等〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0円 ◆運営業務の担い手:不明
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:使用メディアのチェックをこまめに行っている。
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:—

高岡市立博物館

住所:933-0044 高岡市古城 1-5 開設年:1970年 設置母体:市町村区立

所蔵資料: 職員総数(非常勤を含む):6人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔閲覧者等へ,当館収蔵資料を広く知ってもらえるようになっている〕 ②二次利用・貸出〔他の博物館や学校等の他機関の申し出により,広く活用されてきている〕 ③調査研究用〔日頃の調査研究のため,適宜活用することができている〕
所蔵資料の 収録率	(微々たる数)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:予算付け等はされていない。
人員	◆運営担当者:その他:特に決まった職員はいない ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:その他:特に行ってない ◎課題・工夫点等:専用の職員等もおらず,不定期だが更新・追加等を行うよう取り組んでいる。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係 ◆処理状況:その他:ほとんどが当館へ寄贈された収蔵品のため,特にない。 ◎課題・工夫点等:口頭ではなく,なるべく書面にて残すようにしている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【高岡市立博物館・提供アーカイブ】

■高岡市立博物館 ホームページ「収蔵品から」 (1件目/1件中)

公開年:— URL:<http://www.e-tmm.info/syuuzou/syuuzou.htm> 更新頻度:その他(状況に応じて適宜)

概要	当館学芸員の日頃の調査研究の成果を広く知っていただくためのもので,収蔵品にはどのようなものがあるかを見ていただくためのもの ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:32件〔H21.10月現在。うち画像付きが28件〕 ※一括資料を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明(不定期のため)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページ上でも見やすい,目に留まりやすい位置に置いたり,表示を強調して目に留まりやすい工夫をする。
構築	◆システム開発方法:その他:ホームページの開設にともない,ページを随時増加させていった ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:— ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:当館学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:MO, DVD ◆長期保存のための取組:MOディスクからDVDディスク・HDへの移行に取り組む。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

福井市自然史博物館

住所:918-8006 福井市足羽上町 147 開設年:1952年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書2,000冊/所蔵品10,000点 職員総数(非常勤を含む):8人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③—
所蔵資料の 収録率	—
運営予算	◆年間予算に占める割合:— ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:— ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:— ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:—
その他 F.A.	—

【福井市自然史博物館・提供アーカイブ】

■福井市自然史博物館研究報告 (1件目/1件中)

公開年:2001年 URL:<http://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html> 更新頻度:年1回程度

概要	紙媒体の印刷物を PDF にして公開している。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数(内訳):550件 [1巻平均10論文篇数×55号分] ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:アクロバット ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

山梨県立文学館

住所:400-0065 甲府市貢川 1-5-35 開設年:1989年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 290,000 冊/所蔵品 38,000 点 職員総数(非常勤を含む):27 人
 回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔直筆資料の閲覧希望の増加〕 ②資料の保存・管理〔資料の劣化を防ぐことができる〕 ③広報活動〔直筆資料を身近に感じてもらえるようになった〕
所蔵資料の 収録率	6%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.4% ◆外部委託費が占める割合:70% ◎課題・工夫点等:システム更新時に、予算の獲得が困難。
人員	◆運営担当者:その他:資料整理担当が自動的にやっている ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:専門知識の取得や研修の必要性は感じているが、時間と予算の余裕がないのが現状。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握している
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【山梨県立文学館・提供アーカイブ】

■山梨県立文学館画像情報システム (1件目/1件中)

公開年:1989年 URL:機関内一般公開 更新頻度:月1回程度

概要	当館で所蔵する資料の内、原稿や書簡、書などの直筆資料 ◆コンテンツ総容量:146GB ◆コンテンツ総件数:2,100件 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:70人/月 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用 ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:開館時に資料保存と公開を同時に遂行する手段として導入 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:一部外部委託
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:磁気テープ ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

浜松市博物館

住所:432-8018 浜松市中区舘塚 4-22-1 開設年:1958年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書3,000冊/所蔵品160,000点 職員総数(非常勤を含む):15人

回答担当:浜松市生活文化部生涯学習課 博物館事業活動グループ

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔今だデジタルデータ化達成率が低く、今後に待ちたい〕 ②検索性の向上〔今だデジタルデータ化達成率が低く、今後に待ちたい〕 ③活動成果の普及〔当館に対する利用、要望の傾向がデジタルアーカイブの利用状況に反映されつつある〕
所蔵資料の 収録率	1.4%
運営予算	◆年間予算に占める割合:4.4% ◆外部委託費が占める割合:81.6% ◎課題・工夫点等:普及、公開事業と連携し公報効果を上げ、事業規模の拡大を図っている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:当館学芸員。以前、当館の分館にて台帳整備を担当したことがある ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:デジタル化すべき資料の台帳整備がたち遅れているので、職員はじめ、研修生など、多様な人材と機会を利用して台帳整備を進めている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、自機関のみ限定利用 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:資料の大半が所蔵資料で、借用資料も手続きを経て使用しているので、特段の意識はしていなかったが、個人情報の取り扱いなど、取り扱いを制度化すべき課題が存在することを感じている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:地元大学情報学部の情報コンテンツ制作研究の場として、当館を提供しており、相方とも将来の連携につながることを期待している。
その他 F.A.	—

【浜松市博物館・提供アーカイブ】

■浜松市博物館収蔵品検索システム ある蔵 (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/> 更新頻度:年数回程度

概要	当館と分館、全14館の収蔵資料の保存管理と活用を目指し、台帳整備、デジタル化と公開を進めている。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:2,200件〔収蔵資料(台帳)2,200点〕 ◆コンテンツ増加量:1,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:343件〔夏休みシーズンの利用は特に多い。7~8月は平均の2倍〕 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:データベースの検索方法を多様化し、利用者の目的に応えられる機能を目指した。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IB.Museum ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:市町村合併を契機として、合併前各自自治体の博物館施設及び収蔵資料の一元的な保存管理と有効活用が急務であるため ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔システムのカスタマイズ、データ入力〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運營業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:今後、検討が必要
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

藤枝市文学館

住所:426-0015 藤枝市若王子 500 開設年:2007 年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書 10,000 冊/所蔵品 3,000 点 職員総数(非常勤を含む):26 人
 回答担当:市民文化部文化課文化財・市史編さん係

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔検索がスムーズになり,条件抽出もできるようになった〕 ②資料の保存・管理〔担当職員が異動しても情報は蓄積され,共有できるようになった〕 ③—
所蔵資料の 収録率	60%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:—
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:マニュアルを参照して,運用・更新等を行っている。特にスキルや経験はない ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:現在の担当者が異動した際,後任への引き継ぎが重要となるが,どこまで具体的に引き継ぎできるか不明。
権利処理	◆処理方法:自機関のみ限定利用 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:権利問題にかかわる資料については目録のみ公開し,画像は非公開としている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【藤枝市文学館・提供アーカイブ】

■藤枝市文学館資料管理・検索システム (1 件目/1 件中) 公開年:2008 年 URL:機関内一般公開(web 公開予定) 更新頻度:月 1 回程度	
概要	管理用と閲覧用で公開範囲を分けている。 ◆コンテンツ総容量:400GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:13,000 件〔書籍 3,500 件,雑誌 6,200 件,原稿・絵画・書簡等 3,300 件〕 ◆コンテンツ増加量:4,000 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:I. B. MUSEUM2005 ◆構築予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:藤枝市文学館の建設(平成 19 年オープン)に合わせて ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔パッケージソフトのカスタマイズ〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔職員が行っている〕
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

稲沢市荻須記念美術館

住所:492-8217 稲沢市稲沢町前田 365-8 開設年:1983年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 1,500冊/所蔵品 190点 職員総数(非常勤を含む):6人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔来館者の作品情報収集ニーズに応えることができた〕 ②検索性の向上〔来館者の作品情報収集ニーズに応えることができた〕 ③調査研究用〔作品情報が把握しやすくなった〕
所蔵資料の 収録率	18%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:他部署の者 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,権利者との信頼関係,自機関のみ限定利用 ◆処理状況:その他:その都度協議する
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【稲沢市荻須記念美術館・提供アーカイブ】

■国内美術館荻須高德作品データベース (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:機関内一般公開

更新頻度:その他(荻須作品が収録されているとわかった時点で情報提供を依頼し,データを追加入している)

概要	国内美術館所蔵の荻須作品(油彩画,水彩画) ◆コンテンツ総容量:24MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:127件〔絵画(油彩画 108点,水彩画 19点)〕※作品を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ファイルメーカープロ ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:館内の所蔵・展示作品は限られるので,来館された方に国内美術館所蔵作品情報を広く提供することでサービス向上させるため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

田原市博物館

住所:441-3421 田原市田原町巴江 11-1 開設年:1993年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書 10,000冊/所蔵品 11,600点 職員総数(非常勤を含む):7人
 回答担当:文化財課文化財グループ

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔企画展のPR,普及活動の告知に効果があった〕 ②活動成果の普及〔過去の展示リストを公開することにより研究者への情報開示を行えた〕 ③検索性の向上〔収蔵資料を公開できた〕
所蔵資料の 収録率	1%
運営予算	◆年間予算に占める割合:2% ◆外部委託費が占める割合:100%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:独学で学習して,運用・更新等を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:著作権の切れた古美術系の作家を中心にしていく。
その他 F.A.	過去のリスト等を見られるようにする。

【田原市博物館・提供アーカイブ】

■田原市博物館ホームページ (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:http://www.taharamuseum.gr.jp 更新頻度:月1回程度

概要	渡辺華山の生涯。華山作品・収蔵品紹介 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:20件〔絵画・写真〕 ◆コンテンツ増加量:30件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:市役所ではなく,館独自のサイトを運営する。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:HDを空調管理する保管庫に入れている
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:POLTAは不明,その他は連携していない

鈴鹿市考古博物館

住所:513-0013 鈴鹿市国分町 224 開設年:1998 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料: 職員総数(非常勤を含む):22 人

回答担当:鈴鹿市文化振興部考古博物館管理企画 G

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔頒布のものを除き報告書・説明会資料類についてはほぼ公開〕 ②資料の保存・管理〔写真・実測図面資料について着手したところ〕 ③収蔵スペース縮小〔写真・実測図面資料について着手したところ〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:平成 21 年度緊急雇用対策事業を活用して資料のデジタル化を行っている。平成 22 年度も実施の予定。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:初級シスアド程度の知識, 独学 ◆人材育成の取組:その他:個人の資質に依拠している状態
権利処理	◆処理方法:その他:自機関の資料・刊行物に限定してデジタル化・公開している ◆処理状況:その他:特になし
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【鈴鹿市考古博物館・提供アーカイブ】

■報告書・図録・現説資料書庫 (1 件目/2 件中) 公開年:1998 年 URL: http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/ 更新頻度:年数回程度	
概要	考古博物館刊行の報告書等刊行物を PDF にて公開 ◆コンテンツ総容量:0.3GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:95 件〔図書(報告書・図録)63 冊, 現地説明会資料 32 件〕 ◆コンテンツ増加量:5 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10 万円
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:公開用のために特に配慮はせず ◎課題・工夫点等:新規の印刷物は PDF/x-1a 準拠で作成し・入稿するように心がけている。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■鈴鹿の遺跡 100 (2 件目/2 件中) 公開年:1998 年 URL: http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/ 更新頻度:年数回程度	
概要	市内の遺跡発掘調査風景・現況等写真 ◆コンテンツ総容量:0.0003GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:100 件〔遺跡・遺構写真〕 ◆コンテンツ増加量:0 件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0 円〔内部の器材・データのみを使用〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0 円〔HP 公開のみのため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:現在, 過去の発掘調査写真資料のデジタル化と新たなデジカメ撮影データの蓄積が進んでいるので, 参照・公開のための新たな HP を検討中。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

日本習字教育財団 観峰館

住所:529-1421 東近江市五個荘竜田町 136 開設年:1995年 設置母体:私立

所蔵資料:所蔵品 35,000点 職員総数(非常勤を含む):7人

回答担当:学芸部

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔収蔵品の状況を詳細かつ簡易に把握できつつある〕 ②検索性の向上〔検索のためのキーワードを増加しているところである〕 ③短期的な展示〔展示の構成を考えやすくなつたが、未だ十分には生かされていない〕
所蔵資料の 収録率	75%(ただし、タイトル・作者他基本的な情報のみ)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:館内スタッフが分担して運営しているため、現状では予算を必要としない(今後システムの充実化を図るために必要となるかもしれない)。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、データベースの情報入力・更新は、各スタッフの責任で行っている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:各スタッフが可能な範囲で運営を行っている。技術面の講習会があれば参加してみたいと考えている。
権利処理	◆処理方法:その他:館内でのみ使用している ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:現状では一般公開をしていないため、特になし。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:現状では他機関とは連携していないが、情報交換については、機会があれば行いたいと考えている。
その他 F.A.	—

【日本習字教育財団観峰館・提供アーカイブ】

■観峰館資料管理システム (1件目/1件中)

公開年:一年 URL:機関内限定公開(職員) 更新頻度:週1回程度

概要	近代中国書画, 日本の和紙, 教科書など ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数(内訳):28,000件〔中国書3,000件, 和紙・教科書4,800件, 中国画13,000件ほか〕 ◆コンテンツ増加量:30件/年
利用者	◆ウェブアクセス数(増減傾向):web未公開〔現在は非公開だが, 将来的にはホームページ上での公開を目指している〕 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:早稲田システム開発株式会社アイ・ビー・ミュージアム 2005 ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:館の運営上, 必要に迫られたため。(収蔵資料の整理・保管をより円滑に行うため) ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:— ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:—
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:CD-ROMへの画像データの保存を進めていく予定である ◎課題・工夫点等:各種データのバックアップをとるための最善の方法を考えているところである。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

滋賀県立琵琶湖博物館

住所:525-0001 草津市下物町 1091 開設年:1996年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 66,146冊 職員総数(非常勤を含む):40人

回答担当:事業部資料活用担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔収蔵資料の約70%登録〕 ②検索性の向上〔ほとんどの分野でDBによる目録出版達成〕 ③活動成果の普及〔14分野公開,中長期目標達成〕
所蔵資料の 収録率	70%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:現状はこの2年程,県の財政再建のため,予算削減により,新規登録数が減って,維持することが当面の目標。国の緊急・雇用等を使って資料整理等を少しでも進めている。
人員	◆運営担当者:研究者等専門家,非常勤・アルバイト,その他:外部委託 ◆人材育成の取組:その他:特に育成はしていない ◎課題・工夫点等:初期は多少知識のある職員が担当していたが,現在では,2~3年毎に変わる,資料科のデータベース担当になった者が担当する形になったので,担当者が必要な範囲を学ぶしかない。今は積み上げが効かない。基本的に外部委託。別に各資料分野で担当がいるが,一人の分野は引きつぎが困難という問題がある。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料,権利者との信頼関係 ◆処理状況:その他:著作権フリー資料のみ公開 ◎課題・工夫点等:著作権フリー資料のみ公開
他機関との 連携	◆連携状況:連携している ◎課題・工夫点等:GBIF 関連の科博の取り組みに分野別に参加しており,公開するための補助を活用している。
その他 F.A.	1. 初期構築に関わった外部委託業者と保守契約を毎年更新して,メンテ,小改良を続けている。 2. 内部用と外部用のデータベースを作り,出してはいけない情報(生物の詳細な分布情報等)や,出さえない情報を切り分けている。

【滋賀県立琵琶湖博物館・提供アーカイブ】

■琵琶湖博物館資料データベース, 電子凶鑑 (1件目/1件中)

公開年:1997年 URL:<http://www.lbm.go.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	生物標本,地学資料,民具,画像,図書,文献,画像を備えた生物情報 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:270,000件 ◆コンテンツ増加量:20,000件/年(ただしこの2年は予算削減でほとんど増えていない)
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:不明[ホームページへのアクセス件数は年間トップページに10万件だが,トップページからの資料データへのアクセス数は把握できていない] ◆館内等利用者数:145人((資料整理委託の月間延人数が45人日)+(学芸職員・嘱託100人日)=計145人日/日) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。
構築	◆システム開発方法:その他:外部委託で開発と維持管理を行っている ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:資料のデータベース化,公開は基本目標だったため。準備時から予算がついた ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託[システム構築,学芸員の要望の反映] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明(予算は企画調整) ◆予算の出所:自前の予算,国の補助金 ◆運営業務の担い手:ほとんど外部委託
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:JPEG, GIF ◆記録媒体:MO, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:写真はフィルムで残す。デジタル画像は低品質と利便性で広報,貸出用(保存,読み出し媒体が短期間ですぐ変化するため) ◎課題・工夫点等:利用のためのデジタルデータの保存媒体が短い期間で変わるため,入れ換え等無駄が多い。
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

伊丹市立博物館

住所:664-0898 伊丹市千僧 1-1-1 開設年:1972年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 100,000点 職員総数(非常勤を含む):14人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔現在データ化作業中。公開は一部にとどまる〕 ②検索性の向上〔作業時間の短縮が図れた〕 ③短期的な展示〔学芸員の負担軽減につながった〕
所蔵資料の 収録率	70%
運営予算	◆年間予算に占める割合:7% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:保守点検等のメンテナンス費用の確保が困難である。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:導入時にカスタマイズを担当し、その時の経験において、操作指導やメンテナンスを担当している ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:予算的に専門の担当者配置や人材育成は困難である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:権利者の死亡・所在不明により、権利確認が不可能な事例が発生している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:必要性は感じるが専門職員の確保が難しく、システム面でも諸々の課題がある。
その他 F.A.	—

【伊丹市立博物館・提供アーカイブ】

■ミュージステーク V3 (1件目/1件中)

公開年:1997年 URL:機関内限定公開 更新頻度:週1回程度

概要	資料の公開システムに優れ、資料の収集、保管管理が可能である。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:80,000件 ◆コンテンツ増加量:6,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ミュージステーク V3 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

和歌山県立博物館

住所:640-8137 和歌山市吹上 1-4-14 開設年:1971年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 20,000 冊/所蔵品 9,500 点 職員総数(非常勤を含む):11 人
 回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔寄託資料の寄託更新作業の効率化につながった〕 ②活動成果の普及〔館内端末・HP 上での館蔵品の公開ができた〕 ③調査研究用〔収蔵品の各種情報の共有につながっている〕
所蔵資料の 収録率	90%
運営予算	◆年間予算に占める割合:(1%以下) ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:ほとんど運営予算は確保されていない。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが,独学で学習して今では全体を管理する立場である。初期的な構築を外部業者に発注したが,その後は独自で管理を行っている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:人材育成のための費用・時間をかけることができない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔100件/0円〕 ◎課題・工夫点等:画像の利用については,必ず書面により行っている。所有権が館にない場合でも,他の所有者から書面により,利用者に承諾書を取らせている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	OS の変動によるデータベースの大幅な改変がないように構築した。

【和歌山県立博物館・提供アーカイブ】

■和歌山県立博物館文化財データベース (1 件目/1 件中)

公開年:2002年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年数回程度

概要	和歌山県立博物館の収蔵品(館蔵品・寄託品)のデータベース及び和歌山県内の指定文化財のリスト ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:50件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:50人/月 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IB MUSEUM ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:当時ネットワーク事業が県の特別予算枠としてあり,それを利用した ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔緊急雇用事業による入力委託〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔既存のフィルムを利用〕
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔職員の業務として行うため〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:文化遺産オンライン

米子市美術館

住所:683-0822 米子市中町 12 開設年:1983 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 1,760 点 職員総数(非常勤を含む):6 人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②検索性の向上 ③活動成果の普及
所蔵資料の 収録率	90%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:運営予算は米子市が確保しているため,当館での運営予算はない。
人員	◆運営担当者:他部署の者 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:他の業務と兼ねてデジタルアーカイブの運営も行っているためなかなか更新する時間がとれない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0 件/0 円] ◎課題・工夫点等:著作権の保護期間等のデータ入力化を進めていきたい。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【米子市美術館・提供アーカイブ】

■収蔵品管理システム (1 件目/1 件中)

公開年:2007 年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年数回程度

概要	収蔵作品情報, 収蔵作家情報, 展示情報, 貸出情報, 入館者情報, 関係者情報 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):1,700 件 [洋画, 日本画, 素描, 版画, 写真, 書, 彫刻, 資料] ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:現在,館内でのみの公開でウェブ上では公開していない。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用 ◆構築予算:101~300 万円 ◆予算の出所:その他:自治体の予算 ◆予算獲得のきっかけ:市民サービスの向上のため ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [データ入力] ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:その他:自治体の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:ある ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:MO, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

島根県立石見美術館

住所:698-0022 益田市有明町 5-15 開設年:2005年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 9,039冊/所蔵品 2,041点 職員総数(非常勤を含む):9人

回答担当:学芸グループ

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔収蔵品についての問い合わせが増えた〕 ②広報活動 ③—
所蔵資料の 収録率	70%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:学芸員が日常的に収蔵品管理のために利用しているデータベースとは別に、外部に公開するデータベースは島根県内のミュージアムが加盟し、県が運営する「しまねバーチャルミュージアム」にて公開するなど、館の予算に直接影響されないようになっている。
人員	◆運営担当者:その他:特に担当者なし ◆人材育成の取組:その他:特に行っていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料、権利者との信頼関係、自機関のみ限定利用、その他:館外へ作品画像が出る場合は、著作権使用許可を著作権者にとっている。当初は著作権使用料を支払っていたが、現在はフリーのもののみ web 上では公開 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件(デジタルアーカイブについては、印刷物についてはその都度処理)/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔県内のミュージアムが加盟する「しまねバーチャルミュージアム」に加入〕
その他 F.A.	—

【島根県立石見美術館・提供アーカイブ】

■島根県立石見美術館コレクション(しまねバーチャルミュージアム内) (1件目/1件中) 公開年:2003年 URL: http://www.grandtoit.jp/museum/artworks/index.html 更新頻度:その他(していない(できない))	
概要	作品画像(権利フリーのもの)、作者名、作品名、制作年、寸法、技法、作品解説(全てではない) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:383件 ◆コンテンツ増加量:0件(更新できていない)
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:学芸員用に作成していたデータを「しまねバーチャルミュージアム」に提供した ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔データは内部で作成、データ流し込みは外部で〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔更新していない〕 ◆運營業務の担い手:—
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:— ◎課題・工夫点等:開館準備作業の一環として行ったため、更新ができていない。
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

広島城

住所:730-0011 広島市中区基町 21-1 開設年:1958 年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 4,700 冊/所蔵品 5,200 点 職員総数(非常勤を含む):8 人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔資料の管理が容易になった〕 ②調査研究用〔調査研究, 展示会等への活用が向上した〕 ③検索性の向上〔レファレンス業務が向上した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが, 独学で学習して運用・更新等を行っている ◆人材育成の取組:その他
権利処理	◆処理方法:その他:特に権利問題は発生していない ◆処理状況:その他:権利問題が発生していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【広島城・提供アーカイブ】

■蔵書目録 (1 件目/2 件中)	
公開年:2005 年 URL:機関内限定公開(職員) 更新頻度:年数回程度	
概要	当館所蔵の書籍の目録 ◆コンテンツ総容量:11MB ◆コンテンツ総件数:4,700 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:館内未提供(職員の利用のみ) ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算[理由]:0 円 [職員のみ利用で公開を行っていないため] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:— ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■資料台帳 (2 件目/2 件中)	
公開年:2000 年 URL:機関内限定公開(職員) 更新頻度:年数回程度	
概要	当館収蔵資料の台帳 ◆コンテンツ総容量:1.26MB ◆コンテンツ総件数:1,700 件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web 未公開 ◆館内等利用者数:館内未提供(職員のみ利用) ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:1~100 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:未使用 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

(財)ひろしま美術館

住所:730-0011 広島市中区基町 3-2 開設年:1978年 設置母体:私立
 所蔵資料:蔵書 20,000冊/所蔵品 300点 職員総数(非常勤を含む):15人
 回答担当:学芸部

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔一応終了しているが、今後の更新を考えている〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	100%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学,全体を管理,一部外部発注 ◆人材育成の取組:その他:必要を感じない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:必要になったところに対応
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:連携できるグローバルな組織ができるのを待っている。
その他 F.A.	スタンダードが明確でない現段階で作りこんでも、後々の変更を余儀なくされるため、内館利用に限定した構築にとどめ、世界的な情勢を見極めていところ。

【(財)ひろしま美術館・提供アーカイブ】

■名称なし (1件目/1件中)

公開年:1997年 URL:機関内限定公開 更新頻度:ほぼ毎日

概要	所蔵作品の台帳を画像とともにアーカイブ化(館内利用に限定) ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:300件※作品1点を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:館内未提供(3人,職員のみ) ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0円〔一から作った〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔独自〕
運営	◆年間運営予算:0円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, MSOffice ◆保存用ファイル:JPEG, MSOffice ◆記録媒体:その他:ランディスク ◆長期保存のための取組:buckup及び保守の徹底を心がけている
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

山口県立萩美術館・浦上記念館

住所:758-0074 萩市平安古 586-1 開設年:1996年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:所蔵品 5,700点 職員総数(非常勤を含む):18人

回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔当館所蔵作品の写真貸出申請数が増加した〕 ②資料の保存・管理〔全職員がデータベースにアクセスでき、利便性が向上した〕 ③検索性の向上〔全職員がデータベースにアクセスでき、利便性が向上した〕
所蔵資料の 収録率	95%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.2% ◆外部委託費が占める割合:0.2% ◎課題・工夫点等:運営に係る費用は新規購入作品の撮影費用とインターネットプロバイダ契約費用。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して、今ではデジタルアーカイブを構築して、運用・更新等を行っている ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:学芸員が日常業務の合間に行っているため、十分な時間を割くことができない。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [0件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【山口県立萩美術館・浦上記念館・提供アーカイブ】

■山口県立萩美術館・浦上記念館 作品検索システム (1件目/1件中) 公開年:2001年 URL: http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/ 更新頻度:年数回程度	
概要	当館所蔵作品のキーワード等による画像付検索システム ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数[内訳]:5,340件〔東洋陶磁器約440件、浮世絵版画類約4900件〕 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をホームページの見やすいところに配置する。複数の条件による検索が可能。検索結果からの絞り込み再検索が可能。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔すでに作品写真がデジタル化されていた〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:CD-ROMに劣化の兆候が現れた場合、DVD-Rに焼き直す
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

高知県立美術館

住所:781-8123 高知市高須 353-2 開設年:1993年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 25,000冊/所蔵品 12,000点 職員総数(非常勤を含む):24人
 回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔管理が容易になった〕 ②調査研究用〔検索のスピードアップ〕 ③検索性の向上〔検索のスピードアップ〕
所蔵資料の 収録率	60%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学で学習 ◆人材育成の取組:その他:特にしていない ◎課題・工夫点等:特定の職員のスキルに依存している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している [10件/200,000円] ◎課題・工夫点等:公開の必要があるもののみ処理を行っている。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【高知県立美術館・提供アーカイブ】

■高知県立美術館収蔵品管理システム (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:機関内限定公開(職員) 更新頻度:週1回程度

概要	収蔵品の画像及び文字データをデータベース化 ◆コンテンツ総容量:3GB ◆コンテンツ総件数:6,946件※頁数を1件と数える ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:I・B・MUSEUM ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:以前に使用していたデータベースが老朽化したため ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔既存のデータを移し変えた〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:複数のHDにバックアップをとっている
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

佐賀県立名護屋城博物館

住所:847-0401 唐津市鎮西町名護屋 1931-3 開設年:1993年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 30,000 冊/所蔵品 600 点 職員総数(常勤のみ):13 人
 回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔展示計画・資料調査時の作業の合理化が進んだ〕 ②資料の保存・管理〔組織的な資料の管理が可能となった〕 ③活動成果の普及〔資料の情報や画像を広く公開できるようになった〕
所蔵資料の 収録率	収蔵品・公開済み 40% (非公開含むと 80%), 収蔵図書 80%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:県立施設での共通システムのため,本庁(主管課)で一括の保守契約を結びメンテナンスを行っている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:文字情報の入力,写真の撮影・登録,web 公開用サーバへのアップなど ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:誰でも扱えるような簡易なシステムを既存データベースソフト(ファイルメーカー)により構築してもらっているので,特に専門的な知識は要していない。
権利処理	◆処理方法:その他:館蔵資料のみ公開 ◆処理状況:その他:なし
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔県内の県立博物館施設での共通システムを運用〕
その他 F.A.	—

【佐賀県立名護屋城博物館・提供アーカイブ】

■SAGA デジタルミュージアム (1 件目/1 件中)

公開年:2005年 URL:<http://www.pref.saga.lg.jp/sy-contents/bunka/index.htm> 更新頻度:年 1 回程度

概要	県立博物館施設に収蔵されている考古・歴史・民俗・動植物などの資料や図書の情報を検索できる。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:23,100件〔収蔵品220件(公開分のみ),収蔵図書22,900件〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:共同で作成している各館のHPにバナーを置いている。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:ファイルメーカー ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:各館予算ではなく本庁(主管課)が自前で予算化 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔技術的な作業のみ委託〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔システムバグなどの保守契約を本庁が結び外部委託している〕 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムバグなどの保守契約を本庁が結び外部委託している〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, GIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

佐賀県立博物館

住所:840-0041 佐賀市城内 1-15-23 開設年:1970年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 37,000 冊/所蔵品 12,000 点 職員総数(非常勤を含む):20人
 回答担当:学芸課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔時々問い合わせがあり,絶大ではないが効果は上がっている〕 ②新しい表現〔時々問い合わせがあり,絶大ではないが効果は上がっている〕 ③広報活動〔時々問い合わせがあり,絶大ではないが効果は上がっている〕
所蔵資料の 収録率	収蔵品約 1.3%, 蔵書約 90%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:学芸員 ◆人材育成の取組:その他:行っていない
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況[年間処理件数/費用]:把握している〔10件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【佐賀県立博物館・提供アーカイブ】

■SAGA デジタルミュージアム (1 件目/1 件中)

公開年:2005年 URL:<http://www.pref.saga.lg.jp/sy-contents/bunka/index.htm> 更新頻度:年1回程度

概要	コンテンツは「収蔵品を探す」(主要収蔵品)と「収蔵図書を探す」(ほぼ全収蔵図書) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:72,340件〔収蔵品 165件,収蔵図書 72,175件〕 ◆コンテンツ増加量:0件
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページのトップページに配置している。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:県立の博物館施設の活性化を目的に,主管課(当時は文化課)のとりまとめ予算化で独自に実施 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:0円 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

大分市美術館

住所:870-0835 大分市大字上野 865 開設年:1999年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書4,500冊/所蔵品2,300点 職員総数(非常勤を含む):17人
 回答担当:美術振興課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔大分市美術館内の無料公開空間で検索できる〕 ②検索性の向上〔所蔵品選2冊以上の画像データが公開,検索できる〕 ③広報活動〔展示していない所蔵品の検索が可能〕
所蔵資料の 収録率	30%
運営予算	◆年間予算に占める割合:1% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:近年の厳しい財政事情を反映して,ハイビジョンデータベースの運営自体が困難になっている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験は無いが,独学で学習して運用等の外部発注に参与している ◆人材育成の取組:その他:業務に関わる職員が独自に学んでいる ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ構築に関する厳しい財政事情の折柄,外部委託を削減し,職員によるデータ入力等を行う検討を進めている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【大分市美術館・提供アーカイブ】

■ハイビジョンデータベース (1件目/1件中) ※公開休止の可能性あり 公開年:1999年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年1回程度	
概要	大分市美術館の主要な所蔵品に関するデータを保存している。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:2,000件〔所蔵美術品約2,000点〕 ◆コンテンツ増加量:30件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用 ◆構築予算:2001万円以上 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:大分市美術館開館に合わせて導入した。 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔NHKに委託〕 ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:一部外部委託
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:美術振興課職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

宮崎県総合博物館

住所:880-0053 宮崎市神宮 2-4-4 開設年:1971年 設置母体:都道府県立
 所蔵資料:蔵書 33,500冊/所蔵品 95,700点 職員総数(非常勤を含む):30人
 回答担当:学芸課・普及担当

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔外部からのアクセス数の増加〕 ②新しい表現〔外部からのアクセス数の増加〕 ③二次利用・貸出〔外部からの貸出利用申請の増加〕
所蔵資料の 収録率	0.6%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:「みやざきデジタルミュージアム」は文化財課で一括管理・運営されており,当館独自の予算も人員配置もない。
人員	◆運営担当者:その他:ホームページ担当の職員が窓口になっている ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:専門の職員を配置する予算も計画も今のところない。
権利処理	◆処理方法:その他:寄託資料については,原蔵者の承諾を得て公開している。 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔0件/0円〕 ◎課題・工夫点等:寄託資料を公開する際には,その都度原蔵者に対して個別に了解をとる対応をしている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔文化財課による一括管理のもとでの連携〕
その他 F.A.	スタート当初時になかった項目を追加して,公開できなかった資料を随時追加していく予定。

【宮崎県総合博物館・提供アーカイブ】

■みやざきデジタルミュージアム (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:<http://www.miyazaki-archive.jp/d-museum/index.html> 更新頻度:年1回程度

概要	文化財課に所属する各機関で,統一した形式のもと資料公開を行っている。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:540件〔自然史系(動物・植物・地質)と歴史系(考古・歴史・民俗)] ◆コンテンツ増加量:20~30件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:ホームページにリンクを貼っている。
構築	◆システム開発方法:その他:文化財課が一括して業者委託 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:その他:文化財課の予算 ◆予算獲得のきっかけ:当館には特別な予算はない。 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔文化財課からの委託〕 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔文化財課の管理下にあるから〕 ◆運営業務の担い手:一部外部委託
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:複数のメディアに保存しなおしていく必要があると思う。
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

51 博物館-2(相当)

山形大学附属博物館	
住所:990-8560 山形市小白川町1-4-12 開設年:1952年 設置母体:国立 所蔵資料:所蔵品一点 職員総数(非常勤を含む):12人	
目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔ほぼ達成されている。データベースを見て資料借用の申込があった〕 ②活動成果の普及〔ほぼ達成されている。データベースを見て発行物を入手したいとの申込があった〕 ③検索性の向上〔達成度は不明。担当者の実感としては利便性は向上した〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:予算的なものはほとんど期待できず、また専門の係員もいないので、フリーソフトを活用するなど、公開方法について模索中のところが多いが何らかの工夫はしている。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、他部署の者、非常勤・アルバイト ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが、独学で学習して全体を管理。必要に応じて他部署の詳しい方にアドバイスをもらっている。また担当者は非常勤事務員のため、3年ごとに替わる ◆人材育成の取組:その他:特になし。 ◎課題・工夫点等:担当者が必要に応じて独学、もしくは他部署の詳しい方にアドバイスをもらっている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:権利保有者の連絡先がわかる場合は書面で承諾を得ているが、すべての画像についてそれが当てはまらない事が多い。その場合は画像のみ非公開という対応に至っている。それ以上の策について何らかの方策を講じることは、予算と人員不足により考えていない。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:これからの課題となる。
その他 F.A.	これからの課題となる。

【山形大学附属博物館・提供アーカイブ】

■美術資料データベース (1件目/2件中)	
公開年:2007年 URL: http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/art_search/art_search.php 更新頻度:その他(未更新)	
概要	当館所蔵の資料の中で、美術分野のものを画像と名称、材質、サイズ、時代などがキーワードから検索できるようになっている。MySQLを使用。 ◆コンテンツ総容量:22.0MB ◆コンテンツ総件数:369件※資料1点を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:トップページに専用バナーを設置し、初めてHPを見る方にもわかりやすいようにしている。
構築	◆システム開発方法:その他:MySQL利用 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:非常勤の事務補佐員(美術分野担当) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, その他:DVD-RW ◆長期保存のための取組:バックアップを欠かさない。 ◎課題・工夫点等:限りある予算と人員の中で、初めての人でも使いやすい、見やすいものを目指している。今後の技術的な課題はかなり大きい。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:国立国会図書館データベースナビゲーションサービス Dnavi

■三島県令道路改修記念画帖 (4件目/2件中) 公開年: 2008年 URL: http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/museum/mishima.html 更新頻度: その他(未更新)	
概要	<p>山形県の初代県令三島通庸が精力的に行った土木工事業を明治の洋画家、高橋由一に依頼し、石版画に仕立てた画帖3巻分(山形・福島・栃木)の全ページを画像データとして見ることが出来る。無償画像閲覧ソフトKm View((株)国際マイクロ写真工業社)を使用。</p> <p>◆コンテンツ総容量:52.4MB ◆コンテンツ総件数[内訳]:3件〔其之一 栃木県之巻(22枚),其之二 福島県之巻(54枚),其之三 山形県之巻(57枚)] ※画帖一巻分を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明</p>
利用者	<p>◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:無料</p> <p>◎課題・工夫点等:トップページに専用バナーを設置し、初めてHPを見る方にもわかりやすいようにしている。</p>
構築	<p>◆システム開発方法:その他:無償画像閲覧ソフトKm View((株)国際マイクロ写真工業社)を使用</p> <p>◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:通常予算と年間目標(デジタル化を推進し、公開する)の兼ね合い ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔発行物からのPDF作成を印刷会社に委託〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円</p>
運営	<p>◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手:内部の人材</p>
技術	<p>◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:非常勤の事務補佐員(美術分野担当) ◆準拠フォーマット:不明</p> <p>◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD,その他:DVD-RW ◆長期保存のための取組:バックアップを欠かさない。</p> <p>◎課題・工夫点等:限りある予算と人員の中で、初めての人でも使いやすい、見やすいものを目指している。今後の技術的な課題はかなり大きい。</p>
システム連携	<p>◆外部インターフェイス:利用していない</p> <p>◆連携システム:国立国会図書館データベースナビゲーションサービス Dnavi</p>

鴨川シーワールド

住所:296-0041 鴨川市東町 1464-18 開設年:1970年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 160冊 職員総数(常勤のみ):193人

回答担当:開発展示課

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔ホームページは好評を得ている〕 ②新しい表現 ③活動成果の普及〔集客に結びついているかは不明〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:ホームページの1コンテンツとしてアーカイブを制作した。
人員	◆運営担当者:その他:過去の機関誌等をPDF化し、ホームページに掲載。ホームページへのアップは業者に委託している ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:専属の職員はおらず、デジタルアーカイブの為だけのコンテンツを作成してもない。
権利処理	◆処理方法:自機関のみ限定利用 ◆処理状況:その他:発生していない ◎課題・工夫点等:当館が権利を保有しているもののみを使用していく。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	過去に発行した機関誌や、リーフレット等をデジタル化する事でHP充実を行っている。

【鴨川シーワールド・提供アーカイブ】

■シーワールドアーカイブ (1件目/1件中) 公開年:2009年 URL: http://www.kamogawa-seaworld.jp 更新頻度:月1回程度	
概要	過去の機関誌のバックナンバー、動物情報など ◆コンテンツ総容量:0.2GB ◆コンテンツ総件数:340件 ◆コンテンツ増加量:20件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:動物からリンクしてアーカイブにとばす等の工夫をしている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:ホームページの更新に伴い、その1コンテンツとして構築した為 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔ホームページへの掲載〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPG, PDF, AVI, MPEG, WMV, WAVE ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:現在具体的な計画はない。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

日本大学芸術学部芸術資料館

住所:176-8525 練馬区旭丘 2-42-1 開設年:1993年 設置母体:公益法人
 所蔵資料:所蔵品 57,900点 職員総数(常勤のみ):8人
 回答担当:研究事務課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②新しい表現 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:60%
人員	◆運営担当者:非常勤・アルバイト ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【日本大学芸術学部芸術資料館・提供アーカイブ】

■歌舞伎舞踊衣裳データベース (1件目/1件中)

公開年:2006年 URL:<http://www.orc-nana.jp/activities/search.html> 更新頻度:年数回程度

概要	所蔵する歌舞伎舞踊衣裳 163点について、高精細画質でデジタルアーカイブした写真や、「演目」、「役柄」、「着衣の詳細」、「地質」、「柄」、「寸法」等をデータ化している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:163件 ◆コンテンツ増加量:40件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:— ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:平成17年度~平成21年度のオープン・リサーチ・センター整備事業採択による ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託 [システム構築, 公開データの成形] ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:国の補助金 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [サイトデータの更新]
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:研究員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:Flash ◆保存用ファイル:tiff ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

京都市動物園

住所:606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 開設年:1903年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書6,630冊/所蔵品109点 職員総数(非常勤を含む):47人

回答担当:飼育課

目的 〔達成状況〕	①広報活動〔取材機関等も利用していることがわかっており、効果が得られている〕 ②活動成果の普及〔コンテンツの作成・公開が必要〕 ③二次利用・貸出〔啓発が可能となり、利用促進につながっている〕
所蔵資料の 収録率	3%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.4% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:自前予算によるデジタルアーカイブ化の推進が難しい状況にあるため、交付金事業(総務省)による推進を目指している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:外部業者からレクチャーを受けた獣医師が中心となり、飼育員や事務員がデータの作成および公開を行っている ◆人材育成の取組:専門家の指導 ◎課題・工夫点等:専門スタッフがないため、主業務の合間に作業を進めている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,その他:写真撮影の場合に口頭で許諾を得ているだけであり、今後のデジタルアーカイブ化していく際には検討していく必要があると考えている ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:権利問題に詳しい人材がない。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔京都大学野生動物研究センターと事業連携している〕 ◎課題・工夫点等:動物園の活動主旨に合うものについては、今後も連携を検討していきたいと考えている。
その他 F.A.	基本システムを簡単なものとし、データ公開をしやすくした。

【京都市動物園・提供アーカイブ】

■京都市動物園ホームページ (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:http://www5.city.kyoto.jp/zoo/ 更新頻度:年数回程度

概要	飼育動物図鑑, 園内広報誌, 貸出資料の公開, 飼育員ブログやイベント情報等を発信している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:255件〔動物園だより7点, 園内広報(Anta)のことが知りたくて14点, え〜ぞお〜ヒグマ12点, サルワールド新聞9点, キリンタイムズ74点, あのね! どうして!?1点, 救護だより4点, デデポッポー10点, どうぶつ図鑑(写真)哺乳34, 鳥41, 両爬19, 標本(骨格9, 皮革6, 卵殻9, フットプリント6)〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:1,200件/月〔利用者が多い休日前日や新聞・テレビ等でニュース報道された際などにアクセスが増える傾向がある〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:トップページにバナーを配置するなどし、分かりやすいアクセスを心がけている。
構築	◆システム開発方法:その他:業者が既存のソフトをカスタマイズして構築 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:一 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムの構築〕 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔園内スタッフで実施〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムメンテナンス〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:PDF, JPEG, AVI, MPEG, word, ai, excel ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:HD以外の記録媒体保存によるバックアップを検討している
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

京都市立芸術大学芸術資料館

住所:610-1197 京都市西京区大枝杏掛町 13-6 開設年:1991年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 20,000点 職員総数(常勤のみ):2人

回答担当:附属図書館・芸術資料館事務室

目的 〔達成状況〕	①広報活動 ②活動成果の普及 ③—
所蔵資料の 収録率	2%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:すべてフリーソフトと既存のアプリを組み合わせて自作。大学のインターネット環境を使って実施。デジタルコンテンツについては毎年数十点ずつ撮影した保存運用用のものから変換して流用。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:日本文化史(データベース検索技術者2級及び3級知的財産管理技能士所持) ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:属人的であり、人の異動に伴い休止する可能性あり。今後採用時の要件に、当該スキルを入れることも必要。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料、自機関のみ限定利用 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [0件/0円] ◎課題・工夫点等:フェアユースの制度を確立すること。権利処理を前提とすると、予算や人員の限られた多く館では対応が取りにくい。個人情報保護とのバランスを考えた著作権者情報取得データベースは必要。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:ポータルサイトがあれば充分。データベースの利用目的が不明確なので、参加するメリットがわからない。データベースが共通した偏向を見せるものについては、共同でデータベースを立ち上げることに意味はあるが、中途半端なものは、あまり費用対効果が疑問である。需要と労力から考えると現実として難しいのではないか。
その他 F.A.	本館の場合、本調査でいうデジタルアーカイブは、館の資料管理システムとは切り離れた広報用ツールとして運用しているので、質問の内容が基本的な部分でずれている。文字ベースの基本データは15000点が検索対象となっている。館内にはそれなりのデータ量のデジタルデータを保有しているが、本調査でいうところの公開をしていないので、回答の対象としない。公開には著作権処理が必要なものが多く、現状では難しい。フェアユースによる権利制限に期待する。

【京都市立芸術大学芸術資料館・提供アーカイブ】

■京都市立芸術大学芸術資料館オンライン収蔵品目録 (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://w3.kcuu.ac.jp/muse/> 更新頻度:年1回程度

概要	京都市立美術工芸学校から芸術大学に至る卒業作品の一部や教育の参考に利用された美術工芸品、および、卒業生や教員の作品など京都市立芸術大学芸術資料館の収蔵品に関する基本データと一部資料の画像を収録 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:—
構築	◆システム開発方法:— ◆構築予算:— ◆予算の出所:— ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:— ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:— ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:—
技術	◆参考文献:— ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:— ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:— ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:— ◆連携システム:—

関西大学博物館

住所:564-8680 吹田市山手町 3-3-35 開設年:1994年 設置母体:私立

所蔵資料:蔵書 5,250 冊/所蔵品 15,000 点 職員総数(非常勤を含む):10 人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現 [1%] ②広報活動 [5%] ③—
所蔵資料の 収録率	0.6%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:考古学 ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自機関のみ限定利用 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している [大学 IT センターのリポジトリデータベース] ◎課題・工夫点等:大学としてとりくむ。
その他 F.A.	—

【関西大学博物館・提供アーカイブ】

■収蔵資料デジタルアーカイブ (1 件目/1 件中)

公開年:2008年 URL:<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/room/museum.html> 更新頻度:年数回程度

概要	館蔵品, 刊行物のデジタルアーカイブ ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数(内訳):130 件 [収蔵品 3D 画像・出版物アーカイブ] ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:大学の学術リポジトリ整備 ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算, 国の補助金 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

広島市安佐動物公園

住所:731-3355 広島市安佐北区安佐町大字動物園 開設年:1971年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書4,600冊/所蔵品1,668点 職員総数(非常勤を含む):63人
 回答担当:企画広報係

目的 〔達成状況〕	①調査研究用 ②資料の保存・管理 ③収蔵スペース縮小
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:特に問題はない。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:企画広報係職員(飼育技師),飼育 展示課職員 ◆人材育成の取組:その他:特になし ◎課題・工夫点等:特に問題はない。
権利処理	◆処理方法:その他:職員が撮影した写真を,職員が使用 ◆処理状況:— ◎課題・工夫点等:職員が撮影した写真を職員が利用するだけなので特に問題はない。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【広島市安佐動物公園・提供アーカイブ】

■名称なし (1件目/1件中)

公開年:2002年 URL:機関内限定公開(職員) 更新頻度:その他(随時)

概要	動物や事業の写真 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:4,200件〔動物や事業の写真〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:経常経費から支出 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔職員が撮影した写真だから〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0円〔職員が撮影した写真だから〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:飼育技師 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:バックアップをとっている
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

宇部市都市開発部 緑と花と彫刻の博物館（ときわミュージアム）

住所:755-0025 宇部市野中三丁目 4-29. 開設年:2007年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品一点 職員総数(非常勤を含む):11人

※アーカイブの管理運営は他部署担当のため回答困難

目的 〔達成状況〕	①— ②— ③—
所蔵資料の 収録率	—
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:— ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:他部署に一任 ◆処理状況:—
他機関との 連携	—
その他 F.A.	—

【宇部市都市開発部緑と花と彫刻の博物館・提供アーカイブ】

■うべ蔵くん (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:<http://archives.city.ube.yamaguchi.jp/> 更新頻度:年1回程度

概要	所蔵彫刻(作品名, 作家名, 年代別, 素材別) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:241件〔作品名 241, 年代 243, 作家名 241, 素材 294(ただし重複データあり, のべ1,019件)〕 ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆運営業務の担い手:不明
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明

海の中道海洋生態科学館

住所:811-0321 福岡市東区西戸崎 18-28 開設年:2002年 設置母体:国立

所蔵資料:所蔵品一点 職員総数(常勤のみ):62人

回答担当:展示部学習交流課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②広報活動 ③新しい表現
所蔵資料の 収録率	80%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.0003% ◆外部委託費が占める割合:100% ◎課題・工夫点等:ホームページの一部として実施しているため、ホームページ委託会社への管理費内をお願いしている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,その他:各部署に担当者を置き,複数人が担当 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ構築の経験はないが,独学で学習して今では全体を管理する立場として,運用・更新等を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:その他:特にしていない ◎課題・工夫点等:人材育成は必要だが,そこまで手と金が回っていない。できる範囲で運用している。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:かかっている ◎課題・工夫点等:権利問題が派生する事案には関わっていない。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:連携はしていないが,するとすれば,権利を主張するのではなく,お互いが自由に使用できるような連携を望む。
その他 F.A.	—

【海の中道海洋生態科学館・提供アーカイブ】

■マリンワールド海の中道HP (マリンワールド電子図鑑, マリントピックス, 研究活動) (1件目/1件中)

公開年:2002年 URL:<http://www.marine-world.co.jp> 更新頻度:月1回程度

概要	当館で飼育または飼育経験のある種について掲載している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:800件〔報告書, 定期刊行物 200点, 生物図鑑 600種〕 ◆コンテンツ増加量:13件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:ホームページ立ち上げ ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔職員人件費のみ〕
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔更新, 管理〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:現場職員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:DVD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大分県立先哲史料館

住所:870-0814 大分市駄原 587-1 開設年:1994年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書 13,000冊/所蔵品 60,000点 職員総数(非常勤を含む):8人

目的 〔達成状況〕	①その他:民間所在史料の保存処置 ②その他:民間所在史料の安全な利用促進 ③—
所蔵資料の 収録率	30%
運営予算	◆年間予算に占める割合:2% ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:民間所在史料の保存処置としての史料撮影であるため,できるだけ迅速に行わねばならないのだが,予算的な限界もあるため,市町村で既にマイクロ等で撮影した画像データがある場合は,なるべくそれらを恵贈いただき活用できるようにしている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブの研修を受講済。ただし,実務に関しては体験の中で蓄積されたものが最も重要であり,担当としてやっていくことが,もっとも重要な点である ◆人材育成の取組:その他:OJT 研修による育成 ◎課題・工夫点等:仕事をする中で必要な研修を補うことが第一である。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔10件/0円〕 ◎課題・工夫点等:撮影時に,予想される利用関係の許諾を一括して処理するようにしている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔データのやりとり〕 ◎課題・工夫点等:画像をお互いに交換できれば交流によりデータを多く集めることができる。
その他 F.A.	閲覧利用に関し,軽度の利用に関しては,史料所蔵者から承認を受け,館の方で代理して許可を出すようにしている。

【大分県立先哲史料館・提供アーカイブ】

■記録史料調査事業 (1件目/1件中)

公開年:1998年 URL:機関内一般公開 更新頻度:年1回程度

概要	民間所在史料(主に近世の庄屋家文書) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:120件※一史料群の画像を1件と数える ◆コンテンツ増加量:10件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:5人/月 ◆利用条件:一部有料(複写代のみ有料/1枚あたり10円)
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:開館 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費〔理由〕:0円〔部内他館の社会教育施設の協力を得た〕
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:本館研究員 ◆準拠フォーマット:不明(フォーマットの準備はあるが,借りているホームページの設定に制約されている) ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:画像を本館及び市町村担当課・所蔵者の3者で持ち合う。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

北海道立埋蔵文化財センター

住所:069-0832 江別市西野幌 685-1 開設年:1999年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:蔵書8,700冊/所蔵品8,267点 職員総数(常勤のみ):7人

回答担当:第1調査部普及活用課

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔当初の目標を達成〕 ②広報活動〔当初の目標を達成〕 ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ化の単独予算がないため、各刊行物などの印刷物使用に PDF データの納品を含むようにし、それらを web 公開している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブ等は独学で学習。財団が加盟している全理協コンピュータ等研究委員会の担当者(H11~現在)。HPを利用して、印刷刊行物及び、主要図書蔵書データベース公開(PDF配信)を行っている。◆人材育成の取組:その他:特別な取組は行っていない
権利処理	◆処理方法:その他:著作権を所有しているもの及び著作権のないものに限定している ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している [0件/0円] ◎課題・工夫点等:財団に権利のある刊行物のみ公開している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	北海道立埋蔵文化財センターの指定管理者の要求水準書ならびにそれに基づく業務計画書に HP を利用した情報発信、広報活動が示されている。そのため、著作物の刊行後、すみやかにデータの web 配信を行うよう心がけている。

【北海道立埋蔵文化財センター・提供アーカイブ】

■財団法人北海道埋蔵文化財センターホームページ (1件目/1件中)

公開年:2001年 URL:http://www.domaibun.or.jp 更新頻度:年数回程度

概要	刊行物データ PDF の配信。主要図書蔵書データベースの PDF 公開 ◆コンテンツ総容量:138.4MB ◆コンテンツ総件数:28件 ◆コンテンツ増加量:4件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:関連機関等が HP にリンクすることを、特に制限していない。
構築	◆システム開発方法:— ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:(財)北海道埋蔵文化財センターホームページの開設 (H13年) ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:調査部普及活用課の職員 ◆準拠フォーマット:— ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

中泊町博物館

住所:037-0305 北津軽郡中泊町中里字紅葉坂 210 開設年:1998年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 35,000点 職員総数(常勤のみ):2人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔公開はしていないものの、収蔵資料のデジタル化はかなり進捗した〕 ②検索性の向上〔写真付のデータベースにより、検索性が増した〕 ③活動成果の普及〔ホームページの閲覧者が増加し、館の活動について認知されてきた〕
所蔵資料の 収録率	10%
運営予算	◆年間予算に占める割合:— ◆外部委託費が占める割合:— ◎課題・工夫点等:プロバイダから、本庁サーバーに移転したため、費用は殆どかからなくなった。また今年度デジタル化作業については、一部、緊急雇用対策事業等を活用した。ただしデジタル化に要するハード・ソフトともに、財政難のため更新が困難である。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:独学であるが、ホームページ・データベース作成等を担当し、運用を行っている ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,その他 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	解説・広報・web ほかでコンテンツを共有することによって、労力・時間を軽減している。

【中泊町博物館・提供アーカイブ】

■中泊町博物館ホームページ (1件目/1件中)

公開年:1998年 URL:<http://www2.town.nakadomari.aomori.jp/hakubutsukan/> 更新頻度:月1回程度

概要	企画展出品資料データやリーフレットの閲覧・ダウンロード。郷土資料に関するテキスト・画像・音声・動画等の提供 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:100人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:検索ロボットにヒットしやすいようなキーワードを入れている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:博物館の開館準備 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算(理由):0円〔独自サーバー運用,コンテンツ内製〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, GIF, AVI, MPEG, WMV, MPEG, WMA ◆保存用ファイル:JPEG, AVI, MPEG ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:複数の媒体に保存
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

陸前高田市海と貝のミュージアム

住所:029-2205 陸前高田市高田町字下宿 55 開設年:1994年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品 110,000点 職員総数(非常勤を含む):5人

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔約9割の資料登録が終了し、検索性が向上した〕 ②資料の保存・管理〔検索性が向上したことによって、資料の状況把握が迅速化した〕 ③調査研究用〔研究に必要な資料の検索性が向上した〕
所蔵資料の 収録率	90%
運営予算	◆年間予算に占める割合:10% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:主任学芸員が資料管理の一環として独学で、データベースを構築し、管理している ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔数件/0円〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【陸前高田市海と貝のミュージアム・提供アーカイブ】

■陸前高田市海と貝のミュージアム収蔵モード標本目録 (1件目/1件中)

公開年:2007年 URL:<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/kakuka/umikai/mosiki.file/mosiki.htm> 更新頻度:—

概要	国際動物命名規約に従い、収蔵しているモード標本の目録公開。 ◆コンテンツ総容量:3MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:55件〔Holotype 34件, Paratype 21件〕※標本1点を1件と数える ◆コンテンツ増加量:0件(モード標本のみで今のところ増加していない)
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:不明〔HPへのアクセス数は把握しているが、コンテンツへのアクセス数は把握できていない。公開後には、研究者からの有用性の声が聞かれた〕 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:アーカイブへの入口をHPで見やすく表示。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算〔理由〕:0円〔公的機関であるため役所が整備〕 ◆予算獲得のきっかけ:各課へ整備への整備であるため特になし ◆構築業務の担い手:— ◆コンテンツ作成費:—
運営	◆年間運営予算:— ◆予算の出所:— ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:主任学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD, その他:役所のサーバー ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

ハウスオブシセイドウ

住所:104-0061 中央区銀座 7-5-5 開設年:2004年 設置母体:私立
 所蔵資料:蔵書2,000冊 職員総数(常勤のみ):3人
 回答担当:(株)資生堂企業文化部

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②検索性の向上 ③広報活動
所蔵資料の 収録率	95%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【ハウスオブシセイドウ・提供アーカイブ】

■データベース (1件目/1件中) 公開年:一年 URL:機関内一般公開 更新頻度:その他(変更都度)	
概要	企業資料の詳細検索が可能。商品/広告/CM/美術品/蔵書 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:80,000件 ◆コンテンツ増加量:1,000件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:140人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:館内のみ公開だが、検索しやすく画面をシンプルにし、年代、ブランド(商品)モデル、キーワード他で探せるようにしてある。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:一部外部委託 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:— ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, AVI, mpeg2 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

大和市つる舞の里歴史資料館

住所:242-0002 大和市つきみ野 7-3-2 開設年:1998年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書1,500冊/所蔵品29,470点 職員総数(非常勤を含む):6人

回答担当:文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②活動成果の普及 ③調査研究用
所蔵資料の 収録率	30%(収録数9,000件,全収蔵品・全蔵書数29,470件)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:予算については5ヶ年の債務負担行為分(今年2年目)となっており,確保している。データを汎用データとして蓄積をし,別システムに移行しても支障がないように工夫している。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:パッケージソフトをカスタマイズしているため基本的な部分は外部業者に依頼している ◆人材育成の取組:専門家の指導 ◎課題・工夫点等:今後は担当者1人ではなく,市史・文化財担当職員が簡易なデータ更新等できるようにしたい。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している [10件/0円] ◎課題・工夫点等:確認できるもの,許諾が無料のもの,自課所有のもののみデータを選択してデータ化している。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:現在は他機関との連携は図られていないが,将来的には連携を図りデジタルアーカイブのノウハウ等情報交換していきたい。
その他 F.A.	現在館内で運用している収蔵品管理,映像システムにデジタルデータ化した収蔵品を入力,公開可能なものを映像展示端末にて公開,閲覧可能とする作業を継続して行っている。

【大和市つる舞の里歴史資料館・提供アーカイブ】

■大和市映像展示システム (1件目/1件中) 公開年:1998年 URL:機関内一般公開 更新頻度:週1回程度	
概要	古文書, 絵画, 写真, 埋蔵文化財, 彫刻, 工芸品, 民具, 建造物, 標本 (植物・昆虫) ◆コンテンツ総容量:5.47GB ◆コンテンツ総件数:9,000件 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:個人情報にかかわる部分があり利用者拡大は困難である。
構築	◆システム開発方法:パッケージ利用:IBミュージアム(早稲田システム) ◆構築予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:新しく資料館を開設したため ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託 [パッケージシステム修正] ◆コンテンツ作成費[理由]:0円 [内部で既存資料から作成したため]
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:資料館職員(既に出版した文化財報告書をデータ化→データ:画像のデジタルデータ) ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG ◆保存用ファイル:一 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:画像についてのデジタルデータ化は長期的保存を目的としている ◎課題・工夫点等:保存のメディアが永久的にもつかどうか不安がある。特定のプログラムにのらないデータベース作成をしながら保存している。
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

富士見町井戸尻考古館

住所:399-0101 諏訪郡富士見町境 7053 開設年:1974年 設置母体:市町村区立
 所蔵資料:蔵書2,000冊/所蔵品5,000点 職員総数(非常勤を含む):3人
 回答担当:生涯学習課,文化財担当

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔来館者の人気が高い〕 ②活動成果の普及〔CDの売上げがのびている〕 ③資料の保存・管理〔目録作成の段階には至っていない〕
所蔵資料の 収録率	5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:別な手法による展示・案内を考案中で,予算を組んでいるが,認められるかは不明。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:業者に作成してもらったシステムを使用。職員はパソコンを入・切するだけ ◆人材育成の取組:その他:特に考えていない ◎課題・工夫点等:館の主義・主張が反映できるものに近づけてくれる業者を選定している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【富士見町井戸尻考古館・提供アーカイブ】

■藤内の縄文土器 24 選 (1件目/1件中) 公開年:2002年 URL: http://www.texnai.co.jp/ 更新頻度:その他(完成品)	
概要	◆コンテンツ総容量:640MB ◆コンテンツ総件数:— ◆コンテンツ増加量:—
利用者	◆ウェブアクセス数:— ◆館内等利用者数:5人/月 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:音声を発する器具の開発が望まれている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算[理由]:0円〔業者の宣伝を兼ね,作成してもらった〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費[理由]:0円〔業者による〕
運営	◆年間運営予算[理由]:0円〔電気代のみ〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:不明 ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

知多市歴史民俗博物館

住所:478-0047 知多市緑町 12-2 開設年:1999年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:所蔵品一点 職員総数(非常勤を含む):9人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②短期的な展示 ③検索性の向上
所蔵資料の 収録率	95%
運営予算	◆年間予算に占める割合:2% ◆外部委託費が占める割合:50%
人員	◆運営担当者:非常勤・アルバイト(資料整理作業を担当),その他:サーバー管理は外部委託のため,職員はデータ入力のみ ◆人材育成の取組:その他:特になし
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理(美術史料関係),気にしていない(その他) ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【知多市歴史民俗博物館・提供アーカイブ】

■収蔵資料データベース (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:<http://fyutoryi.chita.koayu.net/scripts/CCM.cgi> 更新頻度:年数回程度

概要	収蔵資料名,年代等に加え,写真とスケッチ図を合わせてウェブ上に一般公開 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:13,200件〔民俗資料約11,400件,美術資料1,800件〕 ◆コンテンツ増加量:600件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:200件/月 ◆館内等利用者数:館内未提供 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:博物館ホームページにデータベースのリンク設置。
構築	◆システム開発方法:その他 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:— ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔データの輸入は職員〕 ◆コンテンツ作成費:1~10万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔サーバーの管理〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:寄贈の際の聞き取り調査から,主に学芸員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:HD,その他:外部サーバー ◆長期保存のための取組:外部委託のサーバーと館内パソコンの2か所に保存
システム間連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

大乗寺円山派古画展覧場

住所:669-6545 美方郡香美町香住区森 860 開設年:1870年 設置母体:その他(宗教法人)

所蔵資料:所蔵品 200点 職員総数(非常勤を含む):6人

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔70% 再生画製作によるオリジナルの保管ができた〕 ②検索性の向上〔90% 検索画面で詳細部分を確認できるようになった〕 ③新しい表現〔80% 画像を回転させたりすることで別の角度からの観賞を可能にできた〕
所蔵資料の 収録率	美術品 98%, 蔵書 0%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:その他:デジタルアーカイブ運営に関連する知識のない職員が担当 ◆人材育成の取組:その他:個人の興味で学習している程度
権利処理	◆処理方法:自機関のみ限定利用 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔5件/117,600円〕 ◎課題・工夫点等:美術展の図録よりコピーした図版を無断で使用して販売する業者は、クレームをつけても、権利者が訴訟を起こすことはないとして確信犯的に違法な販売をしていた。結局、何もできず文句を言っただけであった。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	データが DVD で提供されていたため、5年に一度を目途にバックアップを実施したが、DVD のコピーに要する時間がかかったため、ディスクが反ってきてドライブできなくなるトラブルがあった。(タイトルラベルが貼ってあったため。ダイレクト印刷ではなかった。)今回は、ポータブルの HDD にバックアップした。

【大乗寺円山派古画展覧場・提供アーカイブ】

■香住町文化財デジタル化事業(2003) (1件目/1件中)

公開年:2003年 URL:<http://museum.daijyoji.or.jp>

更新頻度:その他(DVD にデータとして保存,更新はしないがバックアップはしている)

概要	旧香住町の文化財デジタル化事業の一つとして、大乗寺障壁画デジタルアーカイブがある。圓山応挙一門の障壁画(165面:国重文)の保存事業に伴うデータ化であり、当初は、高精細複製画の製作にも耐えられるデータ化を意図したものであった。 ◆コンテンツ総容量:91GB ◆コンテンツ総件数:1,360件 ◆コンテンツ増加量:0件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:6,000件/月〔展覧会,メディアによる報道があるとアクセス数が増加する〕 ◆館内等利用者数:0人 ◆利用条件:一部有料(代理店を経由すること/画像により価格設定が異なる)
構築	◆システム開発方法:その他:業者のシステム ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自治体の補助金 ◆予算獲得のきっかけ:2003年香住町文化財デジタル化事業の一環として ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔ホームページ更新〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:内部の者 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:TIF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

周防大島文化交流センター

住所:742-2512 大島郡周防大島町平野 417-11 開設年:2004年 設置母体:市町村区立

所蔵資料:蔵書 60,000冊/所蔵品 105,000点 職員総数(非常勤を含む):2人

目的 〔達成状況〕	①新しい表現〔データベースを通じた問い合わせが年間50件ほどある〕 ②広報活動〔データベースおよびホームページを見た人の来館が多い〕 ③活動成果の普及〔年譜情報等を通じた遠隔地の利用者へのレファレンス回答〕
所蔵資料の 収録率	5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明 ◎課題・工夫点等:更新の予算確保が難しい。
人員	◆運営担当者:その他:外部委託 ◆人材育成の取組:その他:何も行っていない ◎課題・工夫点等:担当者なし,育成に関する人件費の確保も難しい。
権利処理	◆処理方法:権利者との信頼関係,その他:基本的に本センターが著作権を有する資料を公開している ◆処理状況:その他:処理を必要とすることは行っていない ◎課題・工夫点等:写真データの使用の場合には本センターへの申請をするように注意を促している。無断使用の場合には勧告を行い,その説明を求めることもある。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:他機関の連絡は現時点では考えていない。
その他 F.A.	運営のみで更新等の工夫をする経費がない。

【周防大島文化交流センター・提供アーカイブ】

■宮本常一データベース (1件目/1件中)

公開年:2004年 URL:機関内一般公開 更新頻度:その他(開館以来更新なし)

概要	作者(宮本常一)情報,画像,著書,蔵書 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数[内訳]:35,000件〔書籍目録/写真〕※写真は1枚,書籍は1冊を1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:— ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:周年事業として ◆構築業務の担い手:ほとんど外部委託 ◆コンテンツ作成費:101~200万円
運営	◆年間運営予算:501~1000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:業者 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:写真の紙焼きを検討している
システム間連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

愛媛県総合科学博物館

住所:792-0060 新居浜市大生院 2133-2 開設年:1994年 設置母体:都道府県立

所蔵資料:所蔵品 240,000点 職員総数(非常勤を含む):31人

回答担当:学芸課産業研究科

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔様々な来訪者が閲覧している〕 ②広報活動〔様々な来訪者が閲覧している〕 ③—
所蔵資料の 収録率	0.025%
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:特になし ◆人材育成の取組:その他
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:その他:特になし
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔サイエンスミュージアムネット 自然史標本情報検索〕 ◎課題・工夫点等:各館との情報統合によるスケールメリットができる。
その他 F.A.	—

【愛媛県総合科学博物館・提供アーカイブ】

■愛媛県総合科学博物館ホームページ (1件目/1件中)

公開年:2000年 URL:<http://www.i-kahaku.jp/> 更新頻度:年数回程度

概要	博物館の論文及び刊行物のデータ、インターネットサイエンスショー動画を掲載 ◆コンテンツ総容量:280MB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:220件〔研究報告135件、資料目録40件、インターネットサイエンスショー動画9件、博物館だより36件〕 ◆コンテンツ増加量:10件/年
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:830件/月〔夏季休暇期間中に、多少のアクセスの増加がある以外は、一定の水 準を維持している〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:トップページの見やすい位置に、画像のリンクボタンを設置している。
構築	◆システム開発方法:その他:webページの更新作業で制作した ◆構築予算〔理由〕:0円〔webページ制作予 算で作成したため別予算ではないため〕 ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔webページ 制作者など〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:その他:指定管理の委託料 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔指定管理者の業務のため〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:学芸員 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル: PDF, JPEG, GIF, WMV ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, MO, CD-ROM, DVD, 磁気テープ ◆長期保存のための取組:複数媒体の使用, 多重化, 定期的なバックアップ
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

奈良文化財研究所	
住所:630-8577 奈良市二条町 2-9-1 開設年:1952年 設置母体:独立行政法人	
所蔵資料:蔵書 300,000 冊 職員総数(非常勤を含む):110 人	
回答担当:管理部文化財情報課図書・情報係	
目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔研究成果の公開によりアクセス数が増加した〕 ②調査研究用〔調査研究の効率を上げることができた〕 ③検索性の向上〔特定資料の検索が可能となった〕
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:デジタルアーカイブのデータ・コンテンツ作成やシステム更新等運用工程の一部が担える ◆人材育成の取組:独自の育成体系確立 ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブの運営に携わる専任の担当者がいないため、人材の育成に苦慮している。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理,著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:機関内で発行された刊行物については可能な限り全文公開すべく努力している。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔特定の機関と関連のあるコンテンツにおいて相互リンクを行っている〕 ◎課題・工夫点等:木簡に書かれた文字と古文書・古記録に書かれた文字が同時に検索可能であるため、字を読むツールとしての利便性が高まった。
その他 F.A.	—

【奈良文化財研究所・提供アーカイブ】

■名称なし(総称「公開データベース」) (1 件目/1 件中)	
公開年:1999年 URL: http://www.nabunken.go.jp/database/index.html 更新頻度:その他(随時)	
概要	調査・研究成果などを公開している。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:47,330 件※画像を含むデータを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:41,000 件/月 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:Google などの検索エンジンで上位にヒットするよう工夫している。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:不明 ◆予算の出所:不明 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:不明 ◆コンテンツ作成費:不明
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運營業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書系事務職員 ◆準拠フォーマット:ある:ダブリンコア ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, GIF, wav ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:OpenSearch, OpenURL, OAI-PMH ◆連携システム:PORTA, JAIRO, CiNii

九州国立博物館

住所:818-0118 太宰府市石坂 4-7-2 開設年:2005年 設置母体:独立行政法人
 所蔵資料:蔵書 60,000 冊/所蔵品 15,000 点 職員総数(非常勤を含む):130 人
 回答担当:学芸部企画課 文化交流展室

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔地域に根ざした研究成果を公開し、大きな反響があった〕 ②資料の保存・管理〔博物館の資料管理および展示企画の策定が効率化した〕 ③広報活動〔博物館の多彩な研究・展示活動の成果を広く公開できた〕
所蔵資料の 収録率	80%
運営予算	◆年間予算に占める割合:5% ◆外部委託費が占める割合:70% ◎課題・工夫点等:当館のデジタルアーカイブには、研究成果の公表と収蔵品活用の効率化といった2つの面がある。当館では、開館以来、高度情報化のための予算枠が確保されており、その中でどのプロジェクトに充てるかを担当者や関連部署との協議によって決めている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:前職がコンピュータ関係でシステム構築の経験が有る者や、独学でデータベースを学習した者がコンテンツの作成や公開に当たり、運用・更新を外部業者に委託発注している ◆人材育成の取組:— ◎課題・工夫点等:現状では、デジタルアーカイブの担当者が外部業者との情報交換や学習を進めることで、組織全体のスキルを高めている。組織的な取り組みが、今後の課題である。
権利処理	◆処理方法:他部署に一任、著作権フリー資料、自機関のみ限定利用 ◆処理状況〔年間処理件数/費用〕:把握している〔20件/—〕
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	デジタルアーカイブの構築に比べて、恒常的な更新の方がより困難だと認識している。構築の場合は、デジタル素材を前提として予算化できるが、更新が止まると検索数も低下していくので予算的な措置が付きにくくなる。デジタルアーカイブ構築に当たっては恒常的な更新を可能とするような構造で設計することが必要だと思う。

【九州国立博物館・提供アーカイブ】

■西都太宰府 (1件目/3件中) 公開年:2005年 URL: http://www.kyuhaku-db.jp/dazaifu/index.html 更新頻度:年数回程度	
概要	博物館が所在する太宰府地域の史跡・埋蔵文化財調査・民俗芸能等の情報をインターネット上で情報発信している。 ◆コンテンツ総容量:— ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:26,350件〔文化財の画像ファイル 26,000件、報告書 PDF300件、映像 50件〕※画像・PDF・映像 1 ファイルを 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:200件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:関連イベントや展示情報を頻繁に発信することで、博物館活動と密接に結びついたデータベースの運用を行なっている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:博物館の開館時に計画された高度情報化整備の事業の一環として、地域に根ざした研究を公表するため ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔コンテンツの作成・システム構築など〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔コンテンツの作成・システム構築など〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:博物館の研究員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG, MPEG ◆保存用ファイル:Tiff, AVI ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:WEB上で提供しているデータとは別にDVDをドライキャビに保存して、PCで検索できるインデックスによって管理している。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

■装飾古墳データベース (2 件目/3 件中) 公開年:2004 年 URL: http://kyuhaku.jmc.or.jp/ 更新頻度:年 1 回程度	
概要	九州北部に特徴的に分布する装飾古墳の画像を, GIS によって立体地図上の位置情報と連携してインターネットで配信する。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:800 件〔古墳内の装飾文様画像および景観写真 700 件, 地図および航空写真 100 件〕※写真および地図画像 1 枚を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:50 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:立体地図上にドットするなど, 情報の提供方法に新しい技術を採用している。
構築	◆システム開発方法:その他:GENOVA による GIS サーバーに WEB 上での検索機能をもたせたもの ◆構築予算:1001~2000 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:博物館の開館時に計画された高度情報化整備の事業の一環として, 地域に根ざした研究を公表するため・平成 14 年度の科研費の交付による ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔画像のデジタル化・地図による配信の部分〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔地図情報の管理・配信の部分〕
技術	◆参考文献:不明 ◆メタデータ作成者:博物館の연구원 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, DVD ◆長期保存のための取組:WEB 上で提供しているデータとは別に DVD をドライキャビに保存して, PC で検索できるインデックスによって管理している。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない
■対馬宗家文書 (3 件目/3 件中) 公開年:2003 年 URL: http://www.kyuhaku-db.jp/souke/ 更新頻度:年数回程度	
概要	当館が所蔵する重要文化財「対馬宗家文書」について, キーワード・収納別・人物などから, インターネット上で検索できる。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:15,000 件〔文書記録類テキスト 14,000 件, その他器物類画像 1,000 件〕※文書(テキストデータ) 1 件を 1 件と数える ◆コンテンツ増加量:500 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:データベース本体だけでなく, 関連情報やコラムなどによって研究者以外にも理解を深めてもらうような内容としている。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:博物館の開館時に計画された高度情報化整備の事業の一環として, 地域に根ざした研究を公表するため・平成 15 年度の科研費の交付による ◆構築業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔文書のデジタル化, システム構築の部分〕 ◆コンテンツ作成費:201 万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:一部外部委託〔文書のデジタル化, システム構築の部分〕
技術	◆参考文献:博物館資料の書誌情報 ◆メタデータ作成者:博物館の연구원 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:HD, 磁気テープ, その他, マイクロフィルム ◆長期保存のための取組:WEB 上で提供しているデータとは別に DVD をドライキャビに保存して, PC で検索できるインデックスによって管理している。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

(独) 国立特別支援教育総合研究所

住所:239-8585 横須賀市野比 5-1-1 開設年:1971年 設置母体:独立行政法人

所蔵資料:蔵書 62,000 冊 職員総数(非常勤を含む):84 人

回答担当:総務部研修情報課 情報サービス係

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔本研究所発行の冊子体配布部数と関連する文献複写申込の減少〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	不明
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:本研究所のホームページに、本研究所発行研究報告書の PDF ファイルを掲載しているだけであるため、デジタルアーカイブに特に予算がかかるわけではない。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員 ◆職員のスキル等:本研究所のホームページに、本研究所発行研究報告書の PDF ファイルをリンク掲載するための、html 言語の知識 ◆人材育成の取組:その他:担当職員による独学 ◎課題・工夫点等:本研究所のホームページに、本研究所発行研究報告書の PDF ファイルをリンク掲載しているだけであるため、html 言語の知識があれば足りる状況である。
権利処理	◆処理方法:その他:本研究所の規程により本研究所発行の資料(逐次刊行物及び研究報告書等)は、原則として電子化し Web ページに掲載することを前提としているため、別途執筆者の許諾を必要としない。 ◆処理状況:その他:ホームページでの掲載のため ◎課題・工夫点等:著作権帰属に関して、電子化に際して詳細の検討が必要と思われる。
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

(アーカイブについては回答なし)

国立保健医療科学院

住所:351-0197 和光市南 2-3-6 開設年:2002年 設置母体:国立
 所蔵資料:蔵書 100,000 冊 職員総数(非常勤を含む):9人
 回答担当:研究情報センター

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理〔劣化していた資料の保存に役立つ〕 ②検索性の向上〔Web ページに公開することで、アクセスしやすくなる〕 ③広報活動〔図書内の色刷りポスターについては、多数の問い合わせと利用の希望があった〕
所蔵資料の 収録率	0.5%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.4% ◆外部委託費が占める割合:0%
人員	◆運営担当者:知識の多い職員 ◆職員のスキル等:見よう見まねでデジタルアーカイブを構築し、今では全体を管理する立場として、運用・更新等を外部業者に発注している ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料 ◆処理状況:その他:規定を改正してから、著作権を処理した事例が無い、権利処理をしていない ◎課題・工夫点等:著作権問題の発生しにくい公的機関発行図書をデジタル化し、公開する。
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔DNavi〕
その他 F.A.	—

【国立保健医療科学院・提供アーカイブ】

■国立保健医療科学院所蔵貴重書 (1 件目/2 件中)

公開年:2006年 URL:<http://www.niph.go.jp/toshokan/koten/index.html> 更新頻度:その他(数年に一度、予算のある年)

概要	国立保健医療科学院が所蔵している貴重な図書をデジタル化し、公開する。中身は「19 世紀イギリス公衆衛生コレクション」と「1945 年以前の日本で出版された公衆衛生関連図書」を大きな柱とする。 ◆コンテンツ総容量:8GB ◆コンテンツ総件数(内訳):480 件〔書籍 480 冊〕 ◆コンテンツ増加量:100 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:現在見づらい状態になっているので、今後改善したい。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算:501~1000 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:ほとんど外部委託〔業者にホームページ作成と PDF 化を依頼した〕 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円〔構築費用と一緒になので区別できない〕
運営	◆年間運営予算:101~300 万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:DNavi

■保健医療科学 (2 件目/2 件中)

公開年:2002年 URL:http://www.niph.go.jp/toshokan/hoken_iryuu_kagaku.html 更新頻度:年数回程度

概要	国立保健医療科学院の紀要としてのみならず、保健医療科学分野のトピックをいち早く伝えるメディアとして、広く保健医療従事者に向けて最新の知識・情報を伝達している「保健医療科学」(第 51 巻 2 号より『公衆衛生研究』から改題)を電子化したもの ◆コンテンツ総容量:1GB ◆コンテンツ総件数(内訳):72 件〔雑誌 72 号〕 ◆コンテンツ増加量:1 件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:現在のページが見づらいので、SISTなどを参考に改訂予定。
構築	◆システム開発方法:独自に開発 ◆構築予算(理由):0 円〔雑誌印刷費にくりこんだ〕 ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0 円〔雑誌印刷費に繰り込んだ〕
運営	◆年間運営予算(理由):0 円〔雑誌印刷費に繰り込んだ〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:図書館司書 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD, CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:DNavi

(独)物質・材料研究機構

住所:305-0047 つくば市千現 1-2-1 開設年:2001年 設置母体:独立行政法人

所蔵資料:蔵書 22,700冊 職員総数(非常勤を含む):4人

回答担当:科学情報室

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔部分運用中〕 ②調査研究用〔H21年度完成, H22年度運用開始予定〕 ③資料の保存・管理〔H21年度電子化, H23年度運用開始予定〕
所蔵資料の 収録率	10%(全収蔵品の100%化は目指していない)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.05% ◆外部委託費が占める割合:20% ◎課題・工夫点等:運営予算減(-5~-10%)の状況下では,本当に必要な図書・資料への投資と,それらが効果的な利用を引きだすための仕組み作り及び投資効果の検証方法を課題としている。
人員	◆運営担当者:知識の多い職員,研究者等専門家,その他:外部機関の専門家を雇っている ◆職員のスキル等:前職が図書館情報学分野,その知識をデータ作成やシステム設計に活かしている ◆人材育成の取組:専門家の指導,セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:担当職員数に余裕がないため,安定的・持続的な運用が最大の課題。他職員と極力に運用面での併任化。
権利処理	◆処理方法:専門家等に相談,権利者との信頼関係 ◆処理状況:把握していない ◎課題・工夫点等:権利を問題として扱う余裕はなく,研究成果は研究者に帰属する最終系を想定して進めている。
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔研究と開発及び運用ノウハウ〕 ◎課題・工夫点等:相方の独自性や先進性を学び,積極的にとり入れ,改良に関し対等に議論を重ねる。
その他 F.A.	アーカイブ(電子化情報)になる時点で,グローバルな情報マーケットを視野に入れておく必要があり,ローカルな問題と特徴を活かすと同時に情報が持つ多様性を掘り起こす工夫が必要。

【(独)物質・材料研究機構・提供アーカイブ】

■NIMS eSciDoc (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://pubman.mpg.de/> 更新頻度:ほぼ毎日

概要	研究情報(知識・成果) ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:不明 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数〔増減傾向〕:不明〔試験と運用を併用しているので,今年度はわからない〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:・Googleなど検索エンジンから入りやすい工夫をする ・情報としてのコンテンツが連続して分かり易いこと。
構築	◆システム開発方法:その他:共同開発 ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:資金拠出型共同研究枠に応募 ◆構築業務の担い手:一部外部委託 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:情報分野 ◆準拠フォーマット:ある ◆利用・提供用ファイル:PDF, JPEG, GIF等, AVI, MPEG等, WAVE, AIFF等 ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム間連携	◆外部インターフェイス: SUR, OpenSearch, OpenURL, OAI-PMH, その他: CrossRef, CiNii等 ◆連携システム: eDoc

外務省外交史料館

住所:106-0041 港区麻布台 1-5-3 開設年:1971年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 60,000 冊 職員総数(非常勤を含む):26 人

回答担当:編纂室

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及〔研究者・教育機関等による『日本外交文書』の利用促進に貢献] ②新しい表現〔入手・利用が困難な『日本外交文書』の掲載による情報提供の強化] ③広報活動〔新聞紹介等による外交史料館及び『日本外交文書』の知名度の向上]
所蔵資料の 収録率	不明(アーカイブの「概要」の項「コンテンツ総件数」参照)
運営予算	◆年間予算に占める割合:不明 ◆外部委託費が占める割合:不明(下記及びアーカイブの「運営」の項参照) ◎課題・工夫点等:「日本外交文書デジタルアーカイブ」は外務省ホームページ(HP)上にて運用されており、同 HP の運営予算は当省 IT 担当部局が確保。なお当館は、本アーカイブ構築時より、HP 掲載用のデジタル画像作成費(コンテンツ作成費)のみ確保している。
人員	◆運営担当者:その他:当省 IT 担当部局が当省 HP の一部として運営 ◆人材育成の取組:その他:下記参照(類縁機関等との間で情報収集や意見交換等を実施) ◎課題・工夫点等:当館は本アーカイブに関し主にコンテンツの作成について関与。「デジタルアーカイブに関わる人材」に関しては、類縁機関等との間で情報収集や意見交換等を実施。
権利処理	◆処理方法:その他:著作権は全て自機関が所有 ◆処理状況:その他:該当なし
他機関との 連携	◆連携状況(連携内容):連携している〔アジア歴史資料センターへの当館所蔵デジタル画像の提供] ◎課題・工夫点等:類縁機関から成る「歴史公文書等所在情報ネットワーク検討連絡会議」への参加により、デジタルアーカイブ及び横断的検索システム等に関して情報の共有を図っている。
その他 F.A.	・利用者が容易に目的のデジタル画像へ到達するためにシンプルな構造とした。 ・利用者にとって見やすく、利便性の高いTOPページを作成。 ・本アーカイブの知名度向上のための広報活動を実施(報道発表の発出など)。

【外務省外交史料館・提供アーカイブ】

■日本外交文書デジタルアーカイブ (1 件目/1 件中) 公開年:2009年 URL: http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/archives/index.html 更新頻度:年1回程度	
概要	『日本外交文書』(明治維新以降の我が国外交の経緯を明らかにし、あわせて外交交渉の先例ともなりうる基本的史料を提供する目的で1936(昭和11)年から外務省が編纂・刊行している外交史料集)のデジタル画像と目次情報を提供 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数[内訳]:138件〔『日本外交文書』既刊202冊中明治期86冊、大正期52冊が掲載済〕 ◆コンテンツ増加量:138件/年(平成21年1月運用開始。更新1回)
利用者	◆ウェブアクセス数[増減傾向]:不明〔本アーカイブ利用開始後、当館HP全体へのアクセス数が増加(掲載翌月は前月比約1.5倍)〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・本アーカイブのバナーを作成し、当館HP等の見やすいところへ設置 ・更新状況を当館HPの「新着情報」に掲載
構築	◆システム開発方法:その他:新たなシステム等は構築せず、既存の当省HPへ掲載 ◆構築予算:301~500万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:当館の所蔵史料や活動に関する情報発信の場として積極的にインターネット(HP)を活用するための環境整備を行う中で、入手や利用が困難となりつつあった『日本外交文書』をより多くの利用者がより簡便に活用できるようHPコンテンツとして提供すべく本件予算を確保 ◆構築業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔TOPページ等の作成、画像データのWeb掲載〕 ◆コンテンツ作成費:201万円以上
運営	◆年間運営予算:101~300万円(上記「運営予算」の項参照。参考としてデジタル画像作成費につき回答) ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手[委託内容]:ほとんど外部委託〔デジタル画像の作成、Webへの掲載〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:DjVu ◆保存用ファイル:TIFF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:温湿度等が適切に管理された書庫の専用キャビネットに記録媒体を保存 ◎課題・工夫点等:現在、Web閲覧用のフォーマットとして圧縮効率に優れ閲覧しやすいDjVuを使用しているが、汎用性・将来性等の観点からPDFやJPEG2000等の導入が今後の検討課題。
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

京都大学大学文書館

住所:606-8501 京都市左京区吉田本町 開設年:2000年 設置母体:国立

所蔵資料:蔵書 150,000 冊 職員総数(非常勤を含む):8人

目的 〔達成状況〕	①検索性の向上〔公開・非公開含め、約6万件のデータが検索できる状態になっている〕 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	40%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:デジタルアーカイブ運営のための予算として、特別に配分はしていない。当館の経常予算のなかから、必要に応じて、適宜費用を充当している。
人員	◆運営担当者:知識の少ない職員、研究者等専門家 ◆職員のスキル等:担当者の専門は歴史学・アーカイブズ学。おもに、所蔵資料等のデータの登録・更新作業をおこなう。なお、デジタルアーカイブ自体のシステム構築(プログラミング)は外部業者に発注した ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:当館で独自にデジタルアーカイブ専任の職員を採用することは難しく、現在の教職員の態勢で運営をおこなっている。デジタルアーカイブの運用にあたって不明な点が生じた際は、システム構築業者や大学所属のSE等に助言を仰ぐとともに、外部機関の実施するセミナー等に積極的に参加することで、技術的な知識等を得よう努めている。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理、著作権フリー資料 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況〔連携内容〕:連携している〔デジタルアーカイブを保有するアーカイブズ機関等との情報交換〕 ◎課題・工夫点等:将来的には、個々のアーカイブズ機関が所蔵する各種の資料について、各々のデジタルアーカイブ上で横断的な検索が可能となるような状態が望ましいと考える。
その他 F.A.	・検索方法にキーワード検索と階層検索の2種類を取り入れている。これによって、資料群を生成した組織等の形態や、資料群自体の内部構造から目的の資料を探そうとする場合には階層検索を、特定のテーマについて直接検索したい場合にはキーワード検索を、というように、利用者の多様なニーズに応えるシステムとした。 ・一般利用者として内部利用者(当館職員等)で表示される情報を差別化した。これはID・パスワードによるアクセス制限によって実現した。内部利用者は基本的にすべての情報を検索・閲覧できるが、一般利用者には「公開」指定した資料の情報しか検索・閲覧できない仕組みとなっている。これによって、内部情報を含めた情報管理をデジタルアーカイブ上でおこなうことが可能となっている。

【京都大学大学文書館・提供アーカイブ】

■京都大学大学文書館所蔵資料検索システム (1件目/1件中)

公開年:2008年 URL:<http://kensaku.kual.archives.kyoto-u.ac.jp/bunshokan/index.html> 更新頻度:年数回程度

概要	当館所蔵の非現用法人文書・個人資料・刊行物・図書・写真の資料データ等を登録しており、そのうちの一部を一般公開して検索・閲覧に供している。公開件数は約2万件。なお、現物資料のデジタルデータを登録しているのは、上記カテゴリー中「写真」のみであり、その他はメタデータ(テキスト)のみである。 ◆コンテンツ総容量:5GB ◆コンテンツ総件数〔内訳〕:62,583件〔非現用法人文書29,007件、個人資料14,265件、刊行物14,900件、図書3,392件、写真:1,019件(うち公開件数は24,957件)〕 ◆コンテンツ増加量:4,000件(08年9月(運用開始時)と09年12月との比較)
利用者	◆ウェブアクセス数:300件/月 ◆館内等利用者数:10人(2008年度平均、一次資料閲覧者) ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等: ・当館HPのトップページにデジタルアーカイブへのリンクを貼りつけている。 ・デジタルアーカイブの使い方をまとめたPDFファイルを、HPトップページに貼りつけている。 ・当館発行の各種刊行物に、デジタルアーカイブの紹介記事を掲載する。
構築	◆システム開発方法:その他:外部業者に発注し開発を依頼した ◆構築予算:1001~2000万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:大学に申請していたデジタルアーカイブ構築のための経費が採択されたことによる ◆構築業務の担い手〔委託内容〕:一部外部委託〔システムのプログラミング〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算〔理由〕:0円〔これに特化した予算計上はしていない〕 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:当館職員 ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:JPEG ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

(財)大阪社会運動協会 大阪産業労働資料館 (エル・ライブラリー)	
住所:540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14 大阪府立労働センター4F 開設年:2008年 設置母体:公益法人 所蔵資料:蔵書 128,600冊/所蔵品 200点 職員総数(非常勤を含む):4人	
目的 〔達成状況〕	①広報活動〔何人かの照会等があり、ブログなどで取り上げてもらったこともあるが、まだデータ件数が少ないため効果については不明〕 ②活動成果の普及〔何人かの照会等があり、ブログなどで取り上げてもらったこともあるが、まだデータ件数が少ないため効果については不明〕 ③資料の保存・管理〔何人かの照会等があり、ブログなどで取り上げてもらったこともあるが、まだデータ件数が少ないため効果については不明〕
所蔵資料の 収録率	(0%に近い)
運営予算	◆年間予算に占める割合:0% ◆外部委託費が占める割合:0% ◎課題・工夫点等:現状では金は使っていない。ほとんど予算のない図書館なので人件費は限りなくゼロに近く、本事業のために新たに人を雇ったりしていない。さらにデジタルカメラも職員の私物。データははてなブログに掲載しているが、無料。デジタル資料解説のために使う資料も当館の所蔵資料を使ったり、近隣の公共図書館で借りて読んでいるため、費用は発生していない。
人員	◆運営担当者:その他:司書(館長)が時間のあるときに写真を撮って解説を書いている。そもそも司書は1名しかいない ◆人材育成の取組:セミナー等に派遣 ◎課題・工夫点等:今後は他館の経験を聞き取り調査する予定。現状では、専図協のセミナーを受講して事業経験を学習。
権利処理	◆処理方法:著作権フリー資料、処理方法がわからない ◆処理状況(年間処理件数/費用):把握している [0件/0円]
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	本格的なアーカイブ構築のためには専用の管理ソフトを設計する必要があるため、図書館振興財団等の助成金を使って構築していきたい。デジタル・アーカイブ計画は練っているが助成金が獲得できなければ事業に着手できないため、まずは助成金の申請から行う。現状では、お金のかからない「ブログを使ったデジタルアーカイブ」に力を入れる。また、文献資料の場合はコンテンツのすべてをデジタル化するかどうかはケースバイケースで考えていきたい。当分は写真や博物資料などの画像を中心にデジタル化を進める。

【(財)大阪社会運動協会大阪産業労働資料館・提供アーカイブ】

■エル・ライブラリー<レアもの>資料紹介 (1件目/1件中)	
公開年:2008年 URL: http://d.hatena.ne.jp/shaunkyo/ 更新頻度:年数回程度	
概要	はてなブログを使ったアーカイブ。コンテンツは博物資料を中心に、写真やポスターなどを掲載予定。文献資料の場合はコンテンツのすべてをデジタル化しているわけではなく、表紙や内容の数頁を紹介するにとどめている。最終目標はサポート会員の獲得であるから、すべてのコンテンツを無料で公開することは難しい。もしくは、無料公開した場合は「投げ銭システム」の導入を検討する。 ◆コンテンツ総容量:不明 ◆コンテンツ総件数:7件 ◆コンテンツ増加量:6件/年
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料 ◎課題・工夫点等:キーワードをたくさん仕込んでおく。書誌情報をたくさん掲載する。関連資料の紹介をする。
構築	◆システム開発方法:その他:はてなブログを利用 ◆構築予算(理由):0円 [いまある物を使う。デジカメなど機材は私物] ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費(理由):0円 [いまある物を使う。デジカメなど機材は私物]
運営	◆年間運営予算(理由):0円 [アーカイブ事業に回す費用がない。正職員の人件費も払えない] ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ある:『デジタルアーカイブにおける「資料基盤」統合化モデルの研究』 ◆メタデータ作成者:司書(館長) ◆準拠フォーマット:ある:NCR1987年版 ◆利用・提供用ファイル:JPEG ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:HD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:連携していない

(財) 東京市政調査会 市政専門図書館

住所:100-0012 千代田区日比谷公園 1-3 開設年:1922年 設置母体:公益法人

所蔵資料:蔵書 130,000冊 職員総数(常勤のみ):6人

目的 〔達成状況〕	①活動成果の普及 ②— ③—
所蔵資料の 収録率	0.04%
運営予算	◆年間予算に占める割合:0.01% ◆外部委託費が占める割合:0.01%
人員	◆運営担当者:その他:仕事の一つとして職員が分担している ◆職員のスキル等 ◆人材育成の取組:—
権利処理	◆処理方法:その他 ◆処理状況:—
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない
その他 F.A.	—

【(財)東京市政調査会市政専門図書館・提供アーカイブ】

■市政専門図書館デジタルアーカイブス (1件目/1件中)

公開年:2009年 URL:http://www.timr.or.jp 更新頻度:その他(2009年3月に公開)

概要	本会発行の図書 ◆コンテンツ総容量:400MB ◆コンテンツ総件数:47件 ◆コンテンツ増加量:不明(本年3月に公開)
利用者	◆ウェブアクセス数:web未公開 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料
構築	◆システム開発方法:その他:ホームページに掲載したタイトルをクリックするとデジタル画像が閲覧できる ◆構築予算:1~100万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:— ◆構築業務の担い手:内部の人材 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:内部の人材
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:職員(司書) ◆準拠フォーマット:独自の基準 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:PDF ◆記録媒体:CD-ROM, DVD ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:利用していない ◆連携システム:連携していない

(財)特別区協議会 (特別区自治情報・交流センター)

住所:102-0072 千代田区飯田橋 3-5-1 開設年:2005年 設置母体:公益法人
 所蔵資料:蔵書 56,000 冊 職員総数(非常勤を含む):21人
 回答担当:事業部事業推進課

目的 〔達成状況〕	①資料の保存・管理 ②活動成果の普及 ③収蔵スペース縮小
所蔵資料の 収録率	不明(3点のみ)
運営予算	◆年間予算に占める割合:7% ◆外部委託費が占める割合:100%(デジタル化の運営予算中)
人員	◆運営担当者:その他:一般事務の職員 ◆人材育成の取組:その他 ◎課題・工夫点等:何もしていない。
権利処理	◆処理方法:自らの部署で処理 ◆処理状況:把握していない
他機関との 連携	◆連携状況:連携していない ◎課題・工夫点等:これから関係機関と連携していきたいと考えているところである。
その他 F.A.	—

【(財)特別区協議会(特別区自治情報・交流センター)・提供アーカイブ】

■区政春秋 (1 件目/2 件中)	
公開年:2008年 URL: http://www.research.tokyo-23city.or.jp/ 更新頻度:その他(更新することはないため)	
概要	東京都特別区の自治に関すること(当協議会が過去に発行していた機関紙) ◆コンテンツ総容量:332MB ◆コンテンツ総件数(内訳):27 件〔フォルダ(PDF ファイルが入っている)26 コ,エクセルファイル1コ。全26冊分〕※ファイル1コを1件と数える ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数:不明 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:無料(ホームページ公開) ◎課題・工夫点等:ホームページのトップページにバナーを設けている。
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:資料のデジタル化を進め,資料の有効活用を図るという考え方 ◆構築業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔CD作成とホームページへの掲載〕 ◆コンテンツ作成費:51~100万円
運営	◆年間運営予算:不明 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手:不明(ホームページに掲載しているだけ)
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル:PDF ◆保存用ファイル:— ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:毎年ある程度の予算(200万程度)を計上し,永久保存資料を対象に,資料の保存 状態や利用見込み等を考慮してデジタル化するものや順番を決めて行っている
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:不明
■特別区政の変遷 (2 件目/2 件中)	
公開年:一年 URL:機関内限定公開(基本的に公開は本で行っている,この分は保存用である) 更新頻度:—	
概要	特別区政,制度等について ◆コンテンツ総容量:556MB ◆コンテンツ総件数(内訳):不明〔全14巻,25冊分〕 ◆コンテンツ増加量:不明
利用者	◆ウェブアクセス数(増減傾向):web未公開〔(Webには載せていない)〕 ◆館内等利用者数:不明 ◆利用条件:その他(現在CDの利用はしていない)
構築	◆システム開発方法:不明 ◆構築予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆予算獲得のきっかけ:資料のデジタル化を進め,資料の有効活用を図るという考え方 ◆構築業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔CD-ROMの作成〕 ◆コンテンツ作成費:11~50万円
運営	◆年間運営予算:101~300万円 ◆予算の出所:自前の予算 ◆運営業務の担い手(委託内容):ほとんど外部委託〔CD-ROMの作成〕
技術	◆参考文献:ない ◆メタデータ作成者:不明 ◆準拠フォーマット:不明 ◆利用・提供用ファイル: HTML, JPEG ◆保存用ファイル:不明 ◆記録媒体:CD-ROM ◆長期保存のための取組:—
システム連携	◆外部インターフェイス:不明 ◆連携システム:PORTAとは連携していない,他は不明